

※11月1日集計

(案)

枚方市子ども・子育て支援事業計画策定
のためのニーズ調査結果（速報）

平成 年 月 日

枚 方 市

目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果の概要	2
1. 就学前児童	2
問8 母親の現在の就労	2
問9 父親の現在の就労	3
問10 フルタイムへの転換希望	4
問11 就労希望	5
問15 現在の環境においてもう一人暮らし育てること	6
問16 子育てに対する意識	7
問17 日常的に悩んでいること、気になること	10
問18 子育てや健康、教育について気軽に相談できる人、場所	12
問23 保育サービス利用の有無	14
問24 平日に利用したい保育サービス	16
問25 土曜・休日の保育サービスなどの利用希望	18
問26 長期休暇中の幼稚園の利用希望	19
問27 子どもが病気やけがで保育サービスが利用できなかったこと	19
問28 一時預かりの利用	22
問29 一時預かりの利用希望	23
問30 宿泊を伴う一時預かりの利用について	24
問31 小学校低学年での放課後の過ごし方	25
問32 小学校高学年での放課後の過ごし方	26
問35 ファミリーサポートセンターの利用	27
問36 地域子育て支援拠点事業の利用	28
問37 地域子育て支援拠点事業の利用希望	28
問40 子育て支援サービスの認知度・利用度・利用希望	29
問48 子育て支援策の充実	30
2. 小学生	32
問9 母親の現在の就労	32
問10 父親の現在の就労	33
問11 フルタイムへの転換希望	33
問12 就労希望	34
問20 留守家庭児童会室の利用	35
問46 子育て支援策の充実	38

I. 調査の概要

(1)目的

枚方市では、次代の社会を担う子どもを育成し、その家族を支援するなどを目的とした次世代育成支援対策推進法に基づく「次世代育成支援行動計画」を策定し、この計画に基づき、子ども・子育て支援などに関するさまざまな施策を実施している。この計画が平成26年度で終了するため、この計画の目的を引き継ぐ新たな計画の策定に現在取り組んでいる。また、子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援に関する新たな制度（以下「子ども・子育て支援新制度」という。）が平成27年度から始まることが予定されており、この制度に基づく「子ども・子育て支援事業計画」としてもあわせて策定することとしている。

本調査は、新たな計画の策定にあたって、市民が必要としている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や施策に対する意向を把握するための調査である。

(2)対象

平成25年9月1日現在、住民基本台帳に記載されている就学前児童、小学生から無作為に抽出した対象者（就学前児童3,000人、小学生2,100人）の保護者を対象とした。

(3)調査方法

郵送による配布・回収

(4)実施時期

平成25年10月2日～10月21日

(5)回収結果

回収結果は下表のとおりである。

	配布数(件)	回収調査票数(件)	無効調査票数(件)	有効回収数(件)	有効回収率(%)
就学前児童	3,000	1,545	0	1,545	51.5
小学生	2,100	1,110	1	1,109	52.8

(7)報告書の見方

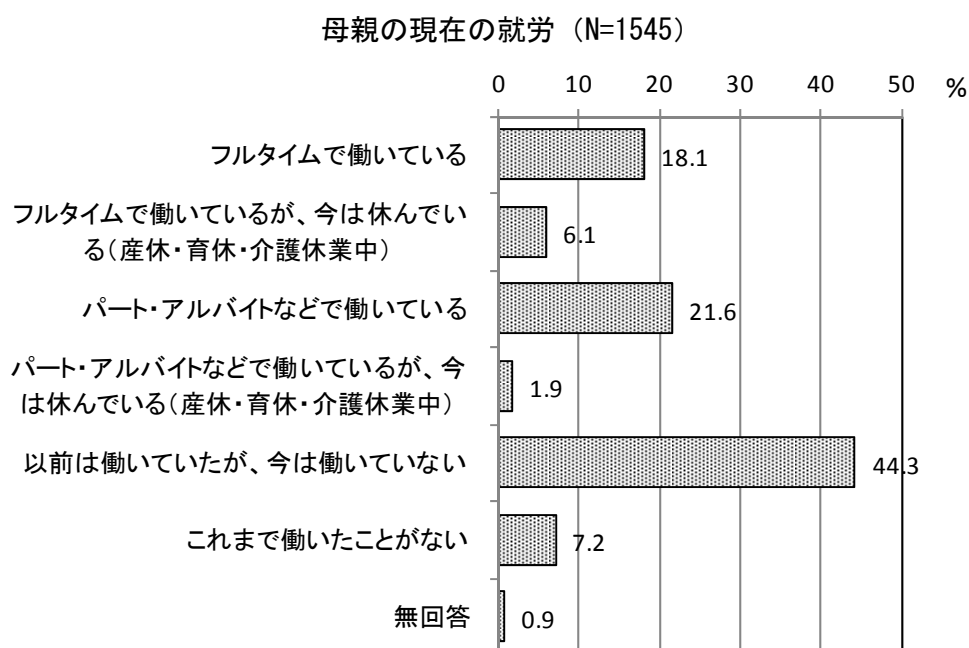
- 集計表は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100%にならない場合もある。
- 回答比率はその設問の回答者数を母数として算出した。したがって、複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100%を超える場合もある。
- 図（グラフ）の「N」は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

Ⅱ. 調査結果の概要

1. 就学前児童

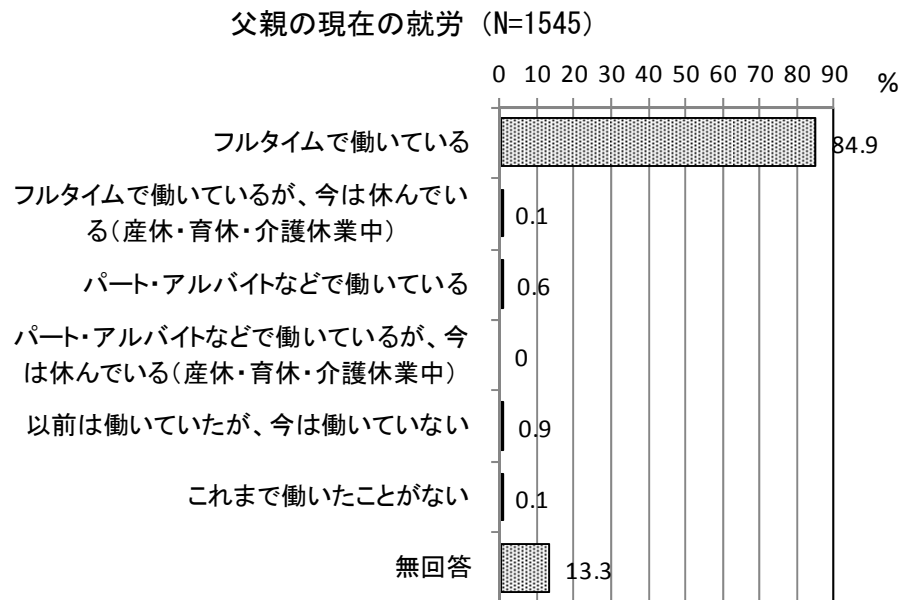
問8 母親の現在の就労

母親の現在の就労については、「以前は働いていたが、今は働いていない」が 44.3%と最も多くなっている。「パート・アルバイトなどで働いている」が 21.6%、「フルタイムで働いている」が 18.1%などとなっており、就労している人は 47.7%を占めている。



問9 父親の現在の就労

父親の現在の就労については、「フルタイムで働いている」が84.9%となっている。

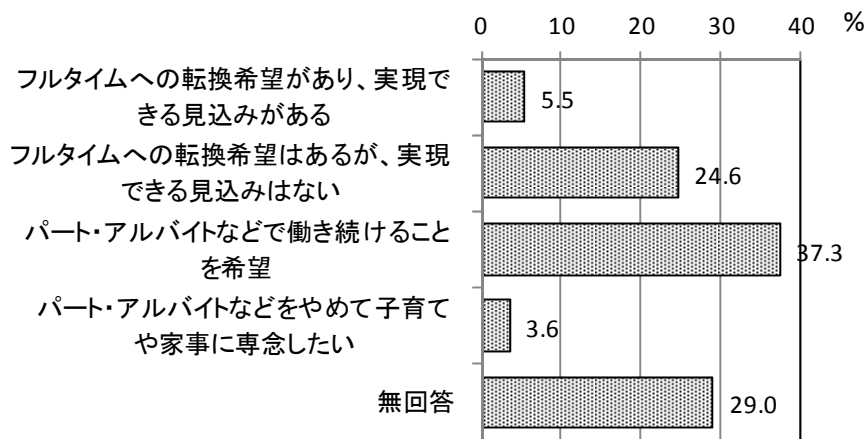


問10 フルタイムへの転換希望

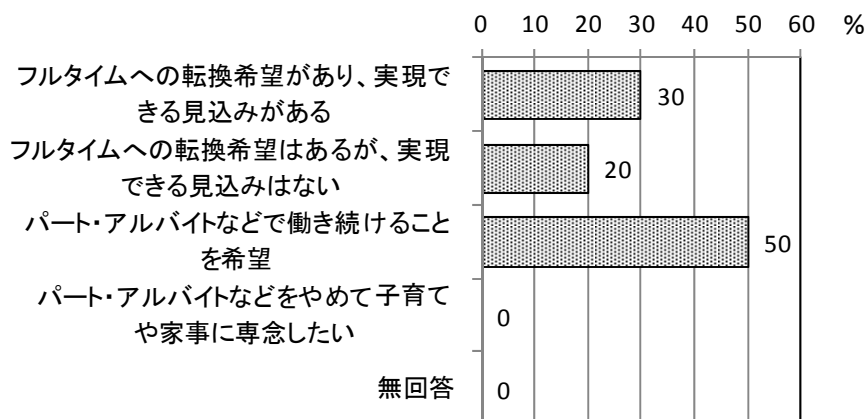
問8において、パート・アルバイトなどで働いていると回答した母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が 37.3%と最も多くなっている。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 24.6%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 5.5%となっている。

問9において、パート・アルバイトなどで働いていると回答した父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が 50.0%と最も多くなっている。「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 30.0%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 20.0%となっている。

母親のフルタイムへの転換希望 (N=362)



父親のフルタイムへの転換希望 (N=10)

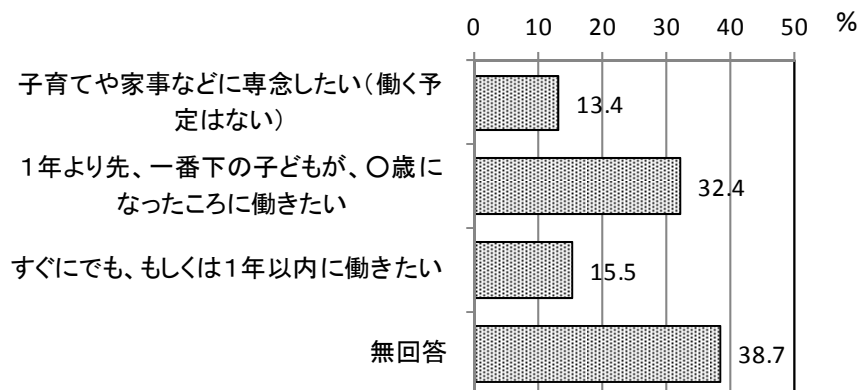


問 11 就労希望

問8において、現在働いていないと回答した母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが、〇歳になったころに働きたい」が 32.4%と最も多くなっている。「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が 15.5%、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が 13.4%となっている。

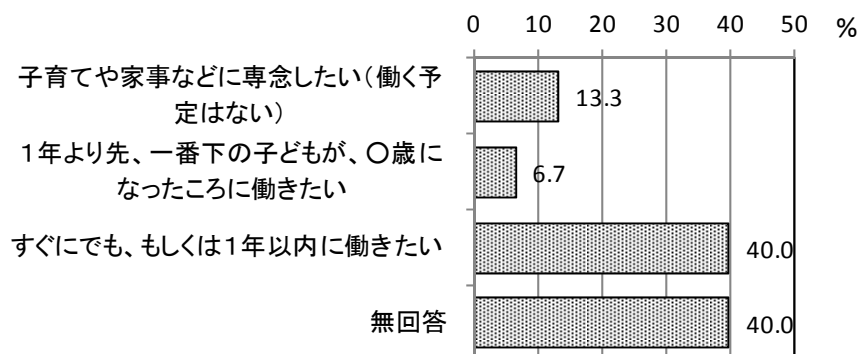
問9において、現在働いていないと回答した父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が 40.0%と最も多くなっている。「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が 13.3%、「1年より先、一番下の子どもが、〇歳になったころに働きたい」が 6.7%となっている。

母親の就労希望 (N=796)



※〇には具体的な年齢の数字を回答してもらっています

父親の就労希望 (N=15)

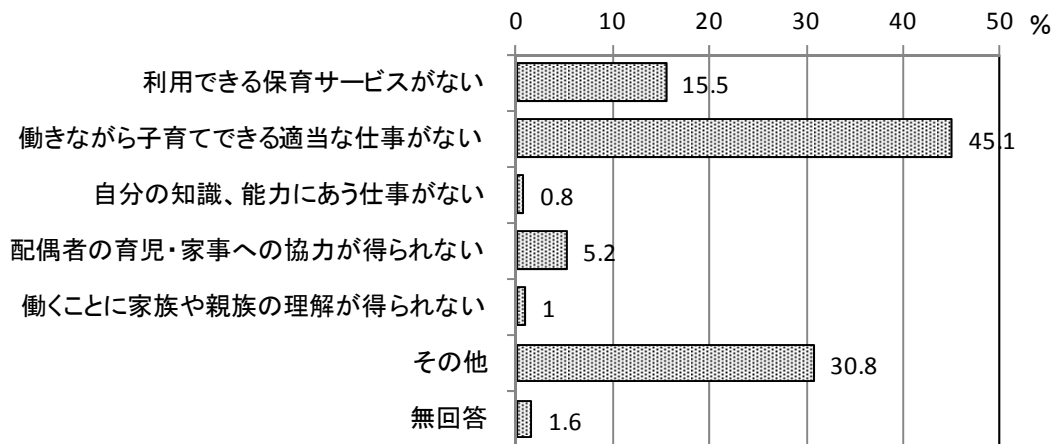


※〇には具体的な年齢の数字を回答してもらっています

問 11-1 就労希望がありながら働いていない理由

父親・母親で就労希望がありながら現在働いていない理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が 45.1%と最も多くなっている。「その他」が 30.8%、「利用できる保育サービスがない」が 15.5%、などとなっている。

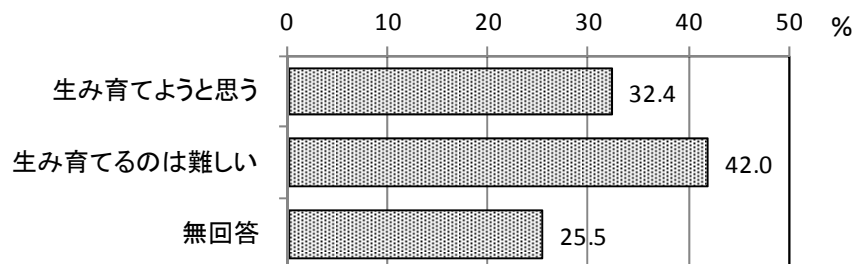
就労希望がありながら働いていない理由 (N=386)



問 15 現在の家庭・教育環境等においてもう一人子どもを生き育てること

希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方に、現在の家庭・教育環境等において、もう1人子どもを生き育てようと思うか聞いたところ、「生き育てるのは難しい」が 42.0%、「生き育てようと思う」が 32.4%となっている。

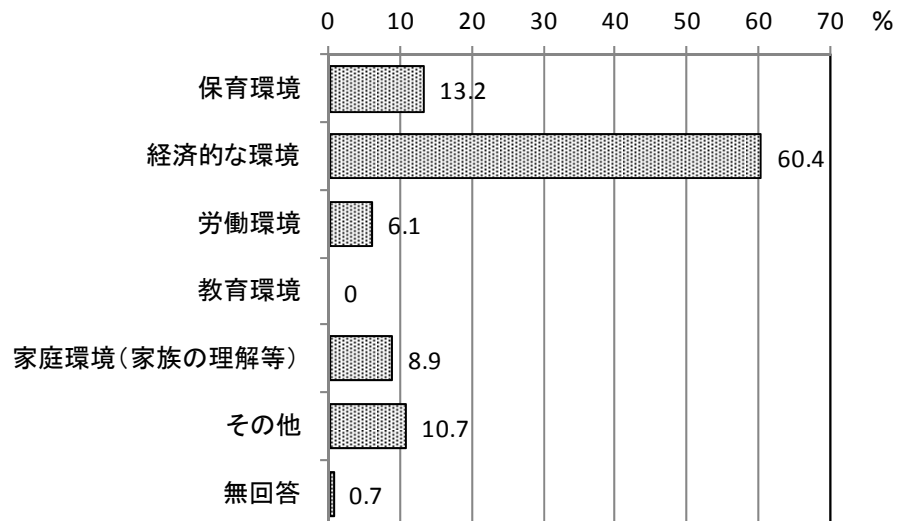
現在の環境においてもう一人生み育てたいか (N=666)



問 15-1 どのような環境を整えればもう一人生み育てるか

希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方のうち、現在の家庭・教育環境等において、もう1人子どもを生み育てるのは難しいと考えている方にとって、どのような環境を整えればもう一人生み育てたいと思うか聞いたところ、「経済的な環境」が 60.4%と最も多くなっている。

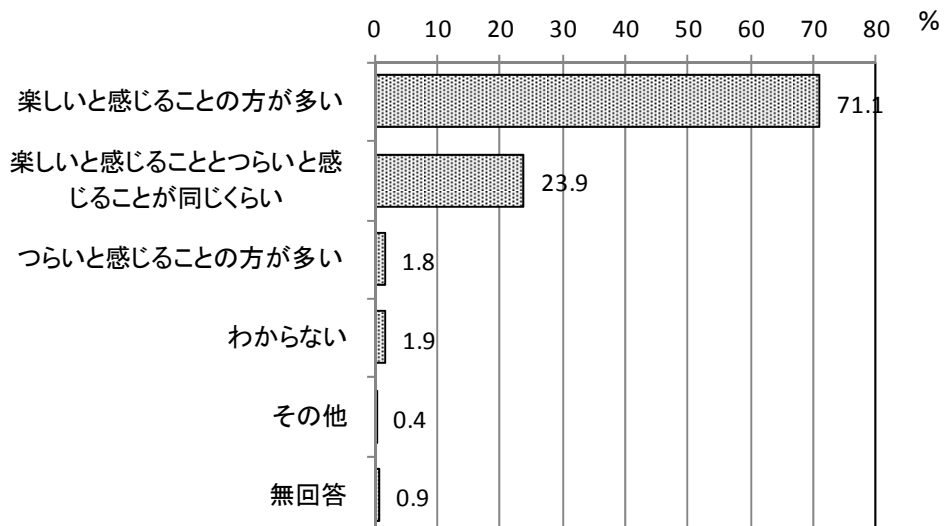
どのような環境を整えればもう一人生み育てるか (N=280)



問 16 子育てに対する意識

子育てについては、「楽しいと感じることの方が多い」が 71.1%と最も多くなっている。「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が 23.9%となっている。

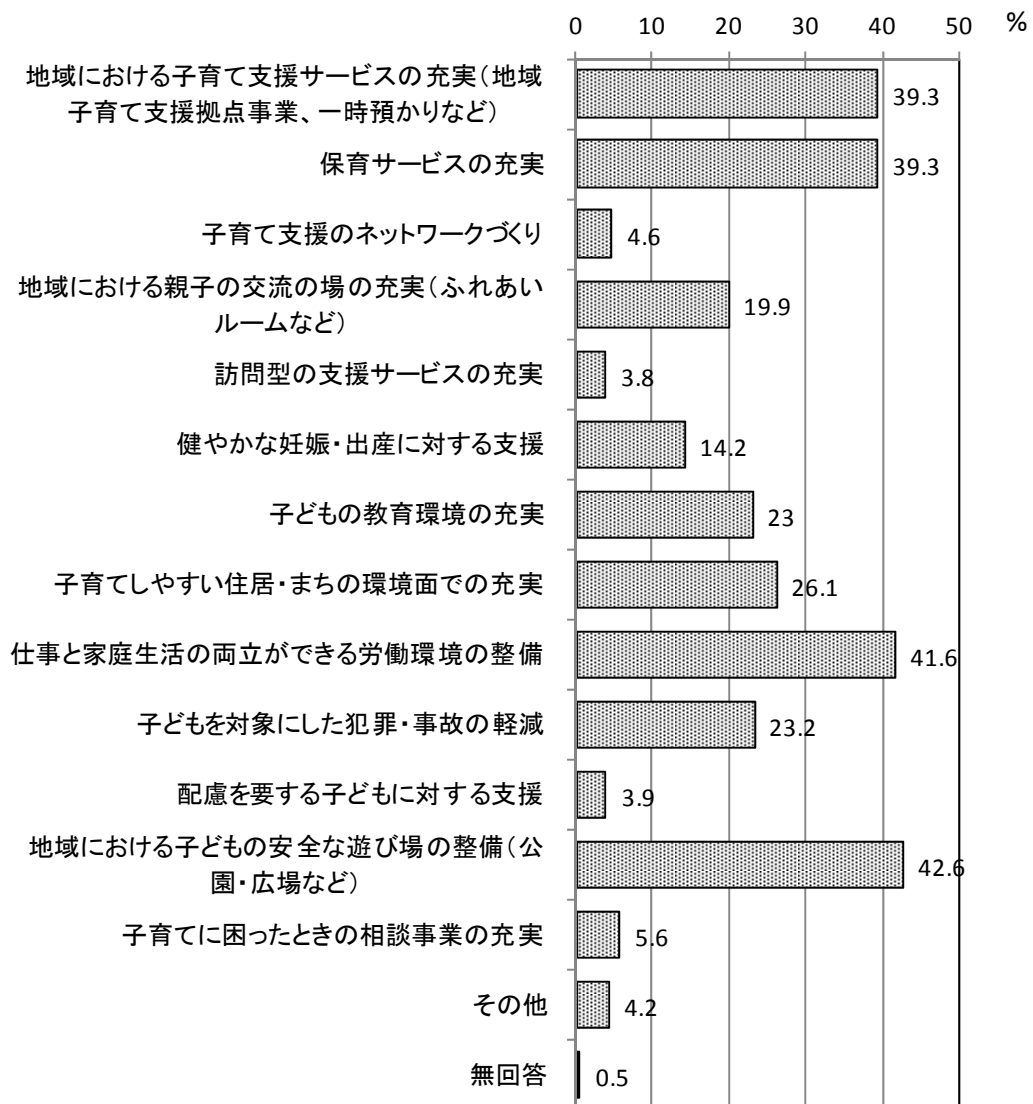
子育てに対する意識 (N=1545)



問 16-1 子育てを楽しんでいると感じることが多い方にとって有効な支援・対策

子育てを楽しんでいると感じることが多い方にとって有効な子育ての支援・対策は、「地域における子どもの安全な遊び場の整備（公園・広場など）」が 42.6%、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 41.6%、「地域における子育て支援サービスの充実（地域子育て支援拠点事業、一時預かりなど）」と「保育サービスの充実」が 39.3%などとなっている。

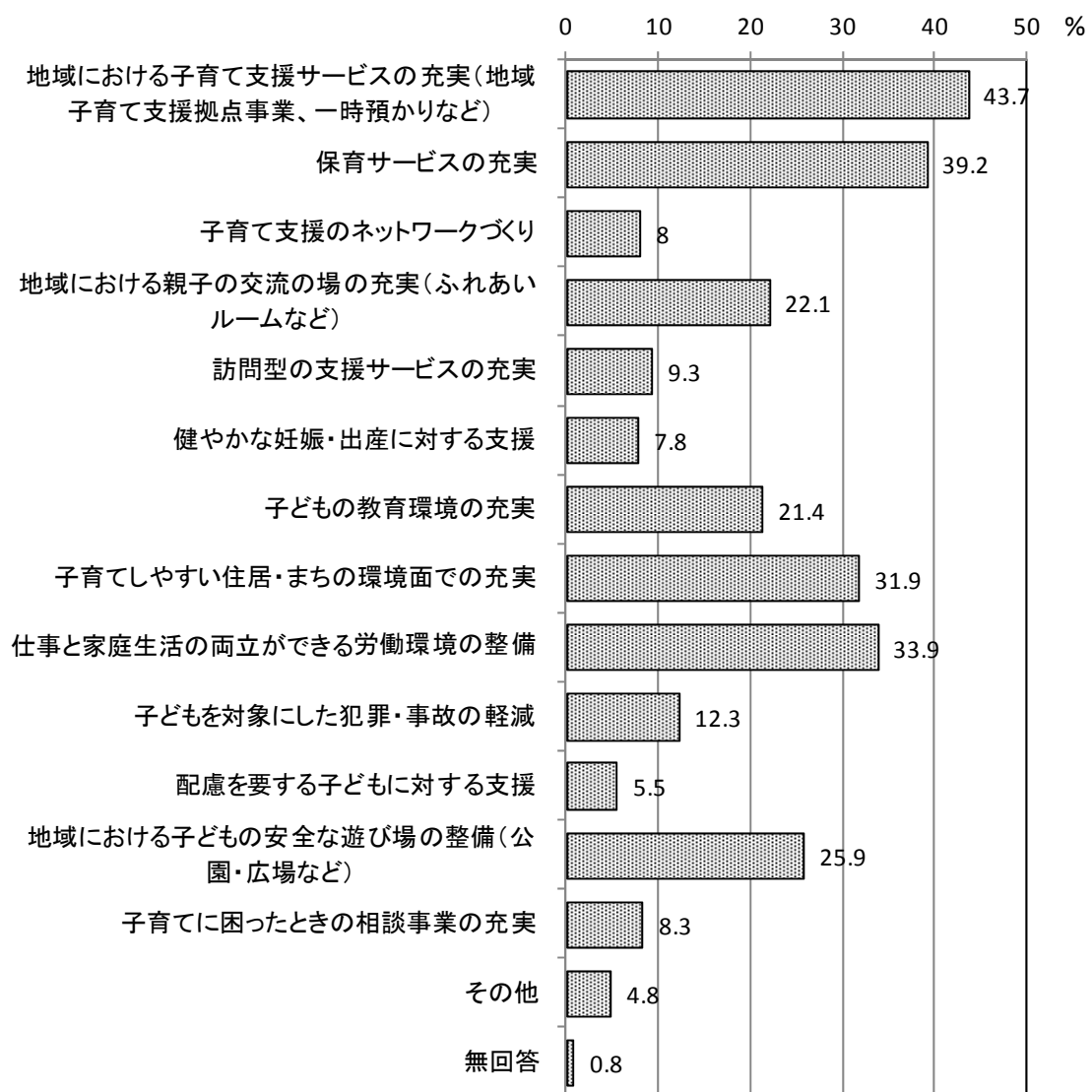
子育てで有効な支援・対策（N=1098、複数回答）



問 16-2 子育てでつらさを解消するのに必要な支援・対策

子育てを楽しいとつらいが同じくらい、もしくはつらいと感じることが多い方にとって、子育てをすす
 る中でつらさを解消するのに必要な支援・対策は、「地域における子育て支援サービスの充実(地
 域子育て支援拠点事業、一時預かりなど)」が 43.7%と最も多く、「保育サービスの充実」が
 39.2%、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 33.9%、「子育てしやすい住居・ま
 ちの環境面での充実」が 31.9%などとなっている。

子育てでつらさを解消するのに必要な支援・対策 (N=398、複数回答)

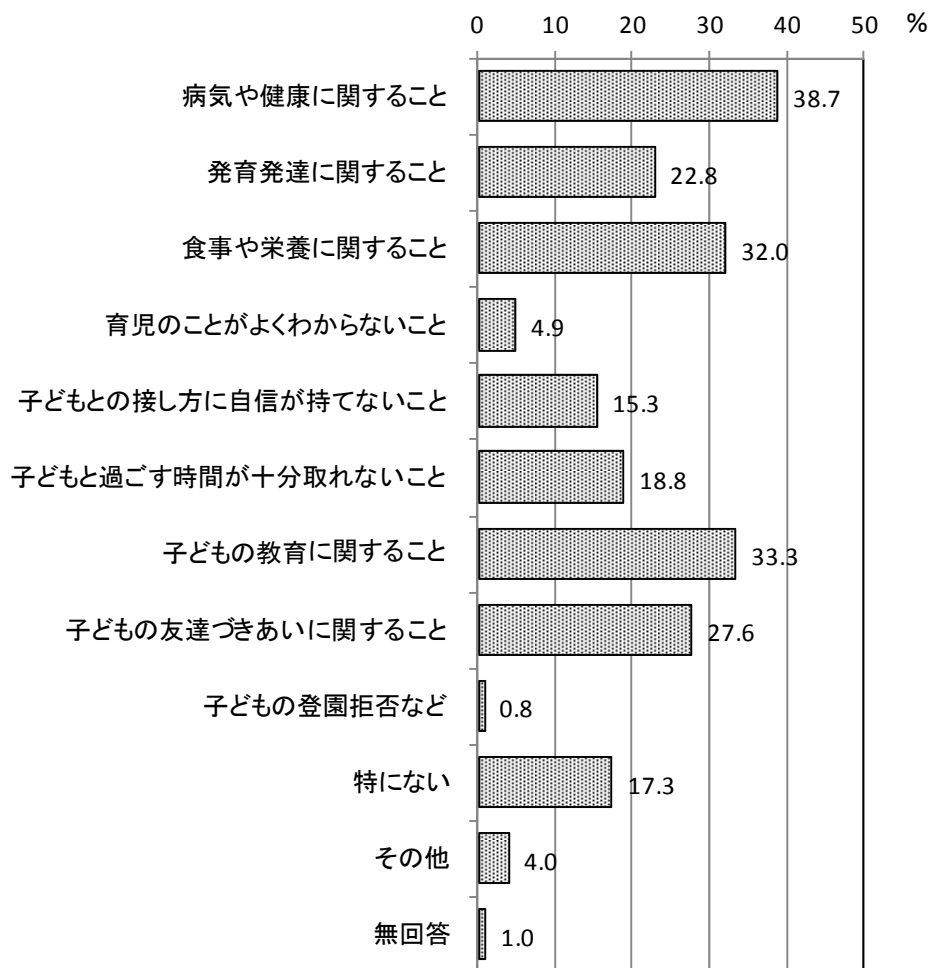


問 17 日常的に悩んでいること、気になること

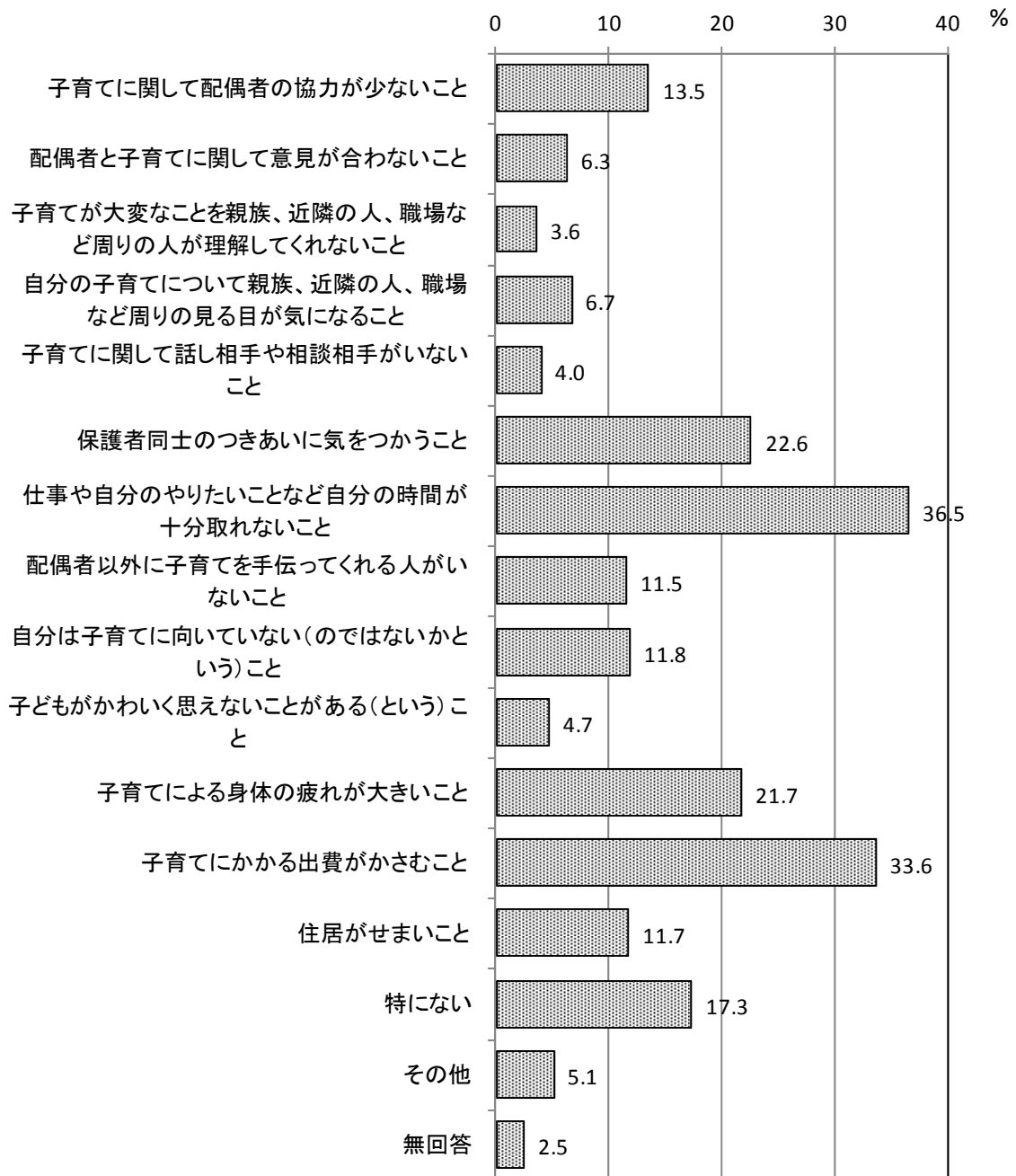
子どもに関して日常的に悩んでいること、気になることは、「病気や健康に関すること」が 38.7%と最も多く、「子どもの教育に関すること」が 33.3%、「食事や栄養に関すること」が 32.0%、「子どもの友達つきあいに関すること」が 27.6%などとなっている。

回答者自身が日常的に悩んでいること、気になることは、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 36.5%と最も多く、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 33.6%、「保護者同士のつきあいに気をつかうこと」が 22.6%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が 21.7%などとなっている。

子どもに関して悩んでいること、気になること (N=1545、複数回答)



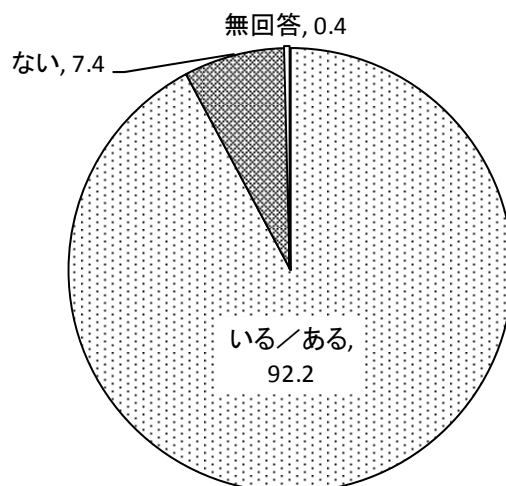
自身に関して悩んでいること、気になること（N=1545、複数回答）



問 18 子育てや健康、教育について気軽に相談できる人、場所

子育てや健康、教育について、気軽に相談できる人、場所については、「いる／ある」が 92.2% を占めている。「ない」が 7.4%となっている。

子育てや健康、教育について気軽に相談できる人、場所 (N=1545)



問 18-1 子育てや健康、教育についての相談先と結果

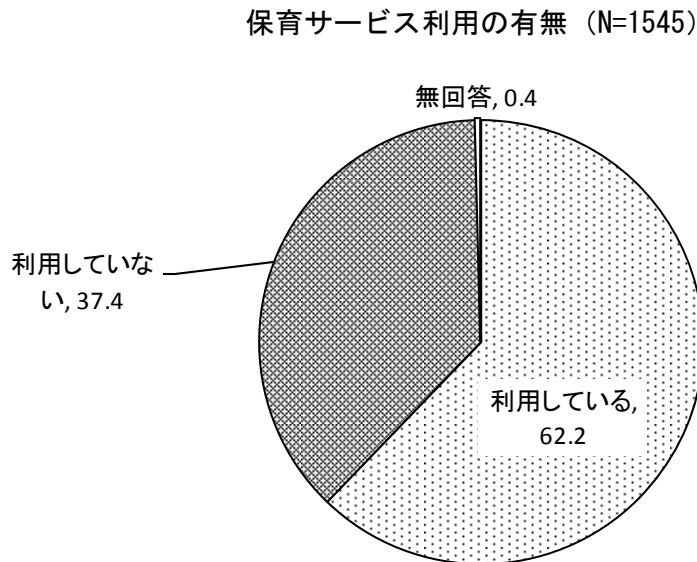
相談できる人、場所が「いる／ある」と回答した方の中で、相談先については、「回答者自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」が 93.3%、「友人・知人」が 87.3%と約 90%を占める。また、「自ら育児書、家庭の医学書で調べる」が 59.3%、「近所の人」が 50.9%、「保健所・保健センター(母子保健・健診)」が 48.1%、「医師、看護師」が 46.8%、「保育所」が 39.5%、「幼稚園」が 30.9%、「携帯電話やインターネット」の交流サイトが 26.8%、「地域における子育て支援サービスの場(地域子育て支援拠点事業、一時預かりなど)」が 13.6%、「家庭児童相談所・子ども家庭センター(相談機関)」が 4.6%、「民生委員・児童委員」が 2.4%、「その他」が 1.2%となっている。

子育てや健康、教育についての相談先と結果

気軽に相談できる人や場所など		相談の有無				相談結果					
		ある	ない	無回答	回答者数 (N)	① 相談してよかった、具体的な支援も得られた	② 相談してよかったが、具体的な支援は得られなかった	③ 具体的な支援は得られたが、相談をして傷ついた	④ 具体的な支援も得られず、相談をして傷ついた	無回答	回答者数 (N)
A 自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族	件数	1328	74	22	1424	1127	134	20	11	36	1328
	%	93.3	5.2	1.5	100	84.9	10.1	1.5	0.8	2.7	100
B 近所の人	件数	725	619	80	1424	528	172	4	3	18	725
	%	50.9	43.5	5.6	100	72.8	23.7	0.6	0.4	2.5	100
C 友人・知人	件数	1243	126	55	1424	937	263	2	4	37	1243
	%	87.3	8.8	3.9	100	75.4	21.2	0.2	0.3	3	100
D 保健所・保健センター(母子保健・健診)	件数	685	653	86	1424	447	170	18	24	26	685
	%	48.1	45.9	6	100	65.3	24.8	2.6	3.5	3.8	100
E 家庭児童相談所・子ども家庭センター(相談機関)	件数	66	1238	120	1424	41	13	3	4	5	66
	%	4.6	86.9	8.4	100	62.1	19.7	4.5	6.1	7.6	100
F 保育所	件数	562	773	89	1424	448	86	2	9	17	562
	%	39.5	54.3	6.3	100	79.7	15.3	0.4	1.6	3	100
G 幼稚園	件数	440	844	140	1424	356	59	5	1	19	440
	%	30.9	59.3	9.8	100	80.9	13.4	1.1	0.2	4.3	100
H 地域における子育て支援サービスの場(地域子育て支援拠点事業、一時預かりなど)	件数	193	1113	118	1424	139	34	1	5	14	193
	%	13.6	78.2	8.3	100	72	17.6	0.5	2.6	7.3	100
I 民生委員・児童委員	件数	34	1263	127	1424	22	6	0	3	3	34
	%	2.4	88.7	8.9	100	64.7	17.6	0	8.8	8.8	100
J 医師、看護師	件数	667	632	125	1424	565	74	4	1	23	667
	%	46.8	44.4	8.8	100	84.7	11.1	0.6	0.1	3.4	100
K 自ら育児書、家庭の医学書で調べる	件数	845	475	104	1424	564	226	7	3	45	845
	%	59.3	33.4	7.3	100	66.7	26.7	0.8	0.4	5.3	100
L 携帯電話やインターネットの交流サイト	件数	381	940	103	1424	253	103	6	2	17	381
	%	26.8	66	7.2	100	66.4	27	1.6	0.5	4.5	100
M その他	件数	17	733	674	1424	11	3	0	3	0	17
	%	1.2	51.5	47.3	100	64.7	17.6	0	17.6	0	100

問 23 保育サービス利用の有無

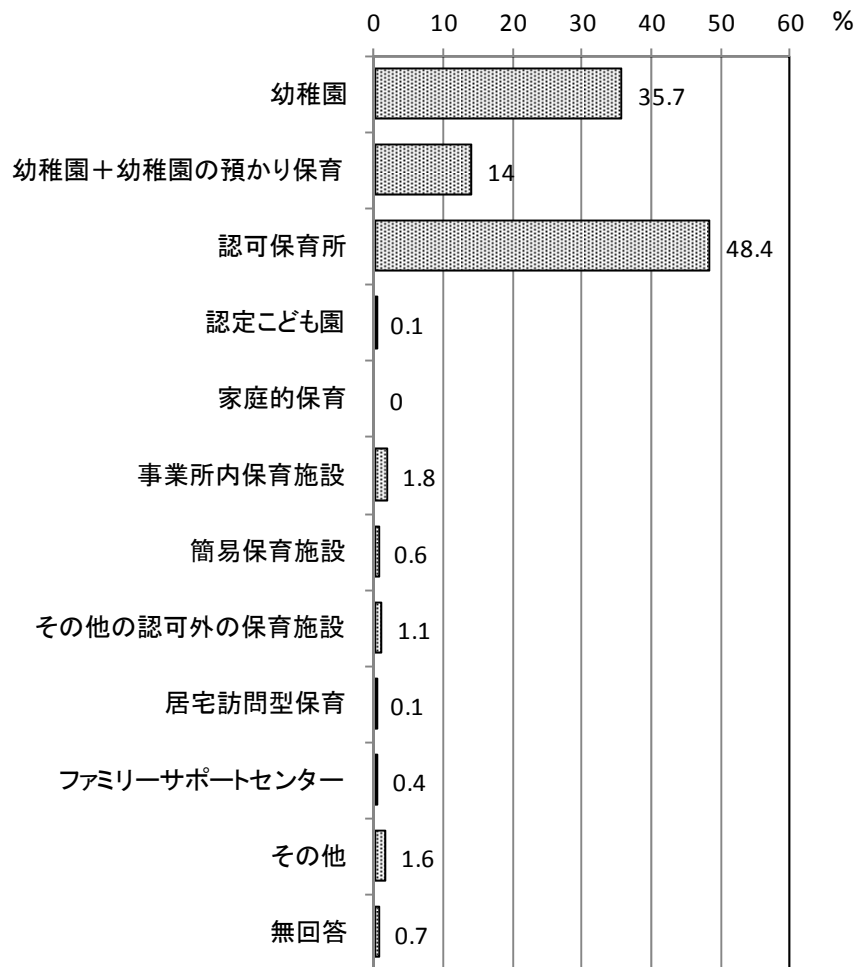
平日に幼稚園や保育園などを定期的に「利用している」が62.2%、「利用していない」が37.4%となっている。



問 23-1 現在の保育サービスの利用状況

平日に幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用していると回答した方が、現在、利用している保育サービスは、「認可保育所」が 48.4%、「幼稚園」が 35.7% などとなっている。

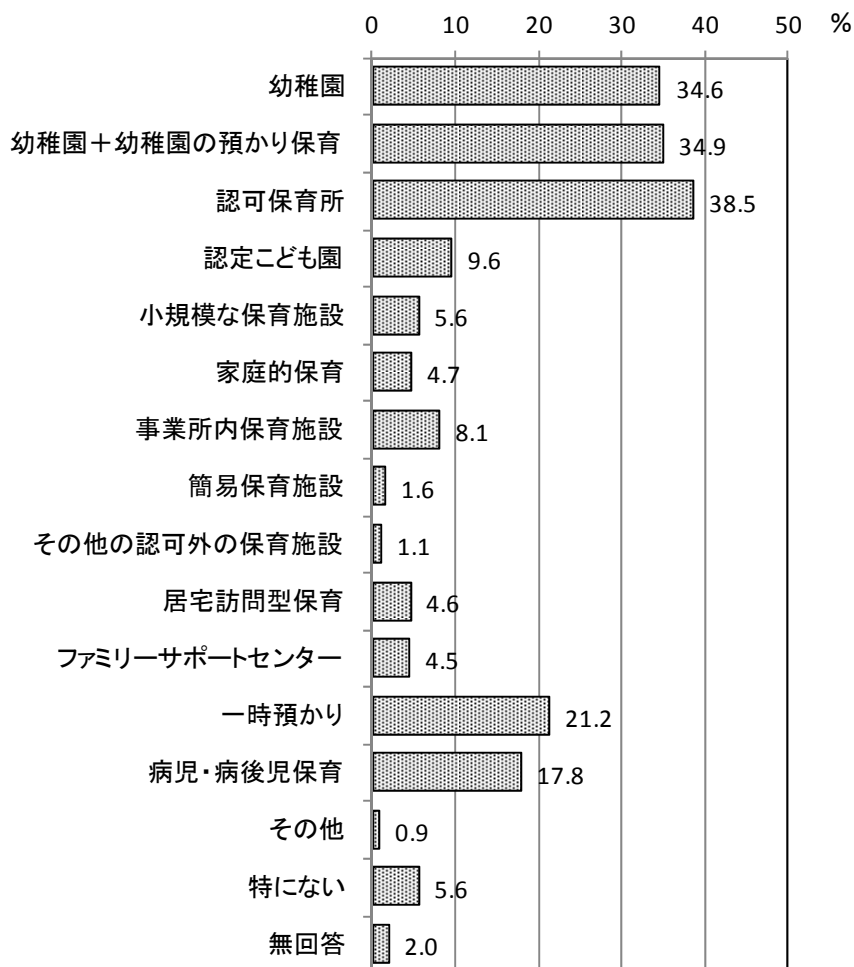
現在の保育サービスの利用状況 (N=961、複数回答)



問 24 平日に利用したい保育サービス

幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを現在利用している、利用していないにかかわらず、平日「定期的に」利用したい保育サービスは、「認可保育所」が 38.5%と最も多くなっており、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 34.9%、「幼稚園」が 34.6%、「一時預かり」が 21.2%、「病児・病後児保育」が 17.8%などとなっている。

平日に利用したい保育サービス (N=1545、複数回答)

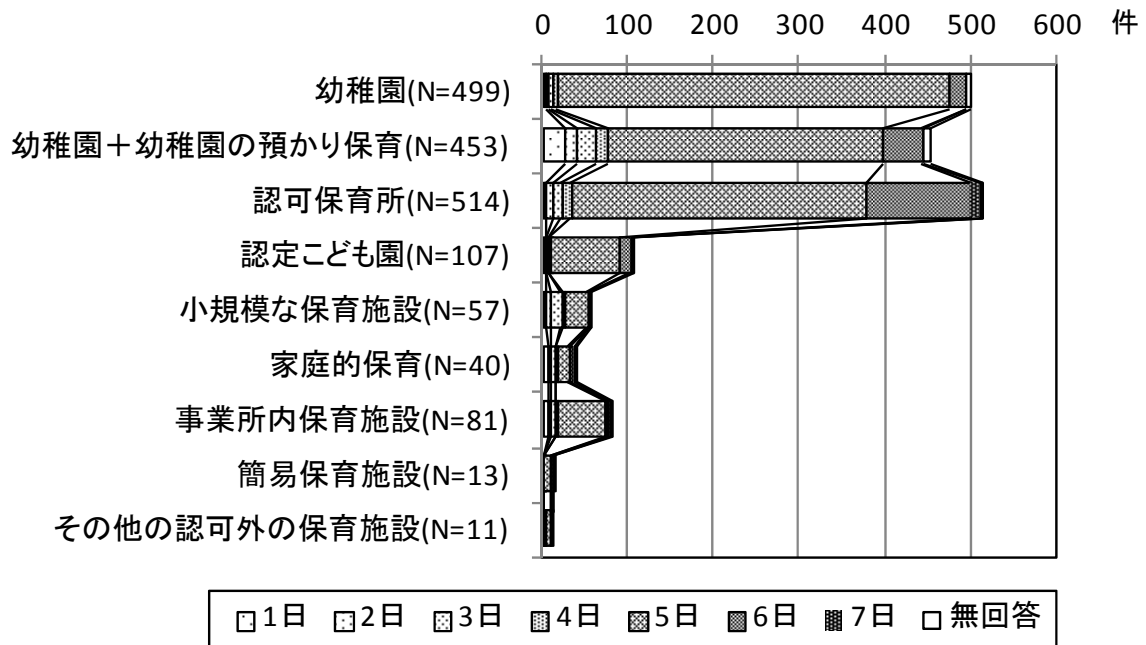


問 24-2 平日に利用したい保育サービスの利用日数及び利用時間

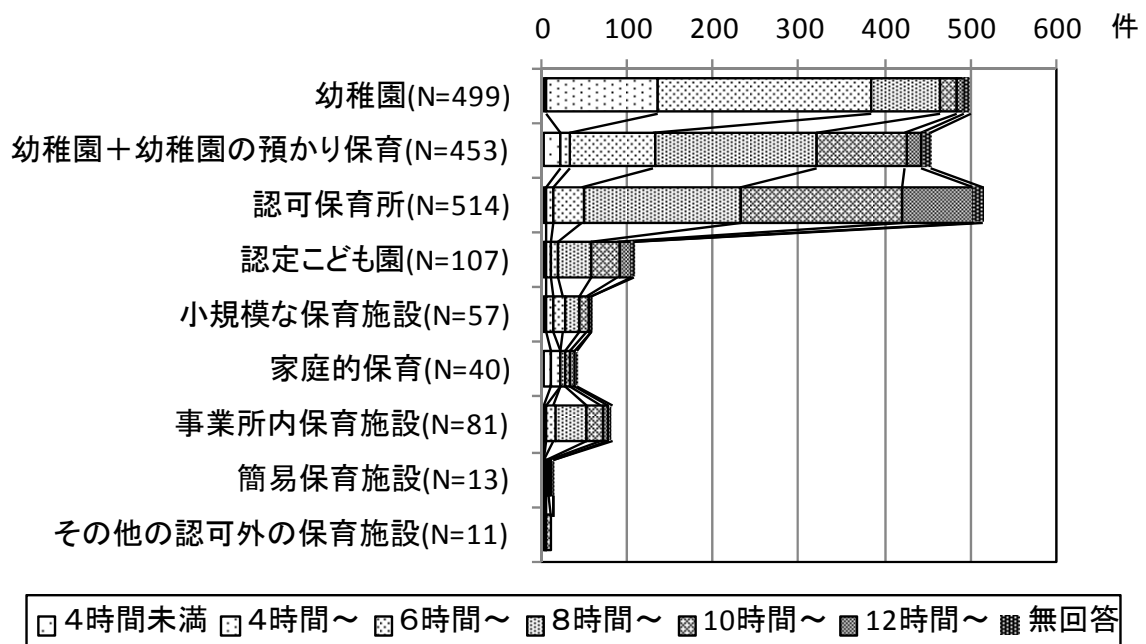
利用を希望している幼稚園や保育所などの1週当たり利用日数は、いずれも「5日」が最も多い。

1日当たり利用時間は、「幼稚園」では「6時間～」、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」では「8時間～」、「認可保育所」では「8時間～」「10時間～」が多い。

利用を希望している幼稚園や保育所などの1週当たり利用日数（件数）



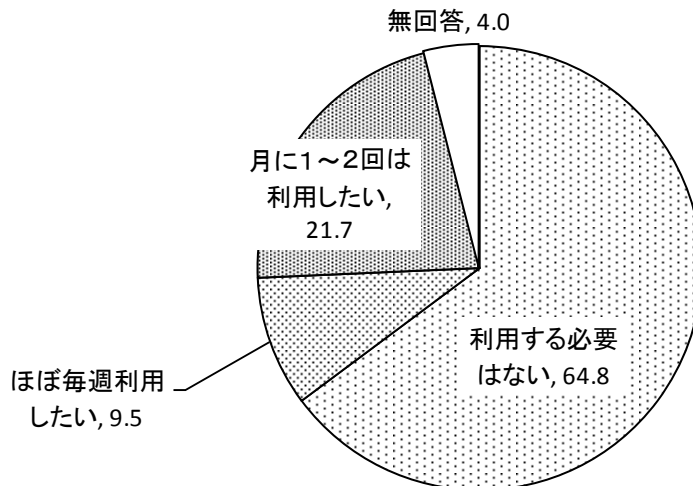
利用を希望している幼稚園や保育所などの1日当たり利用時間（件数）



問 25 土曜・休日の保育サービスなどの利用希望

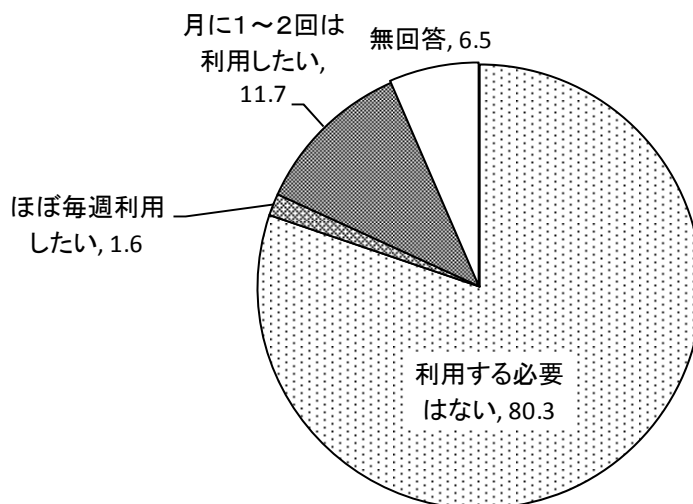
土曜日の保育サービスの利用希望は、「利用する必要はない」が 64.8%と最も多く、「月に1～2回は利用したい」が 21.7%、「ほぼ毎週利用したい」が 9.5%となっている。

土曜日の保育サービスなどの利用希望 (N=1545)



日曜日・祝日の保育サービスの利用希望は、「利用する必要はない」が 80.3%と最も多く、「月に1～2回は利用したい」が 11.7%、「ほぼ毎週利用したい」が 1.6%となっている。

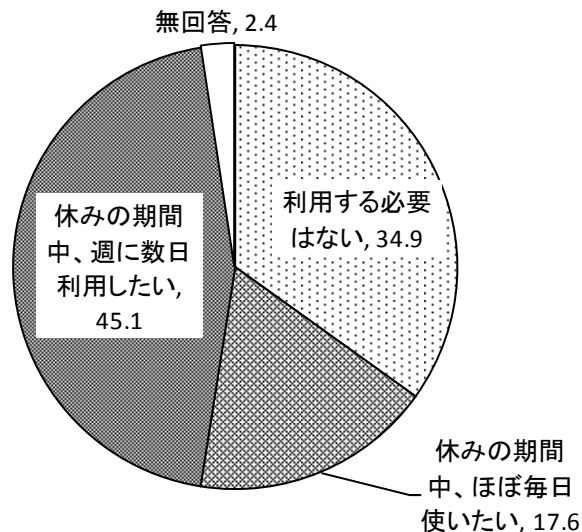
日曜日・祝日の保育サービスなどの利用希望 (N=1545)



問 26 長期休暇中の幼稚園の利用希望

問23-1において、平日に定期的に利用しているサービスとして、幼稚園を選択された方に、夏休み・冬休みなどの幼稚園の利用希望について聞いたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい」が45.1%と最も多く、「利用する必要はない」が34.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」が17.6%となっている。

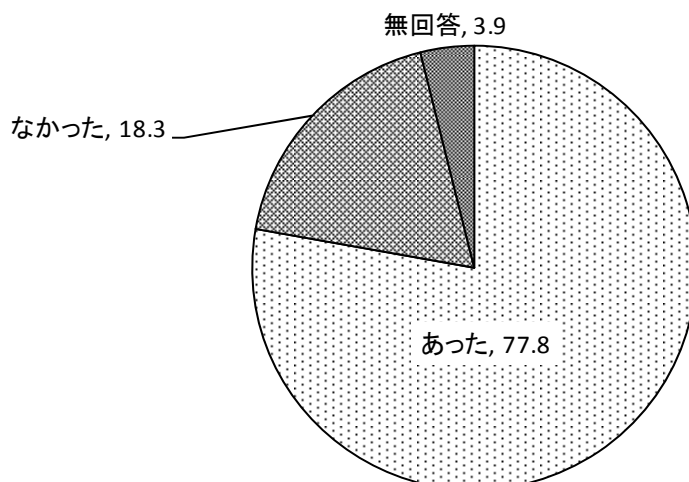
長期休暇中の幼稚園の利用希望 (N=455)



問 27 子どもが病気やけがで保育サービスが利用できなかったこと

問23において、平日に幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用していると回答した方に、この1年の間に子どもが病気やけがで幼稚園や保育所を利用できなかったことがあるかについて聞いたところ、「あった」が77.8%、「なかった」が18.3%となっている。

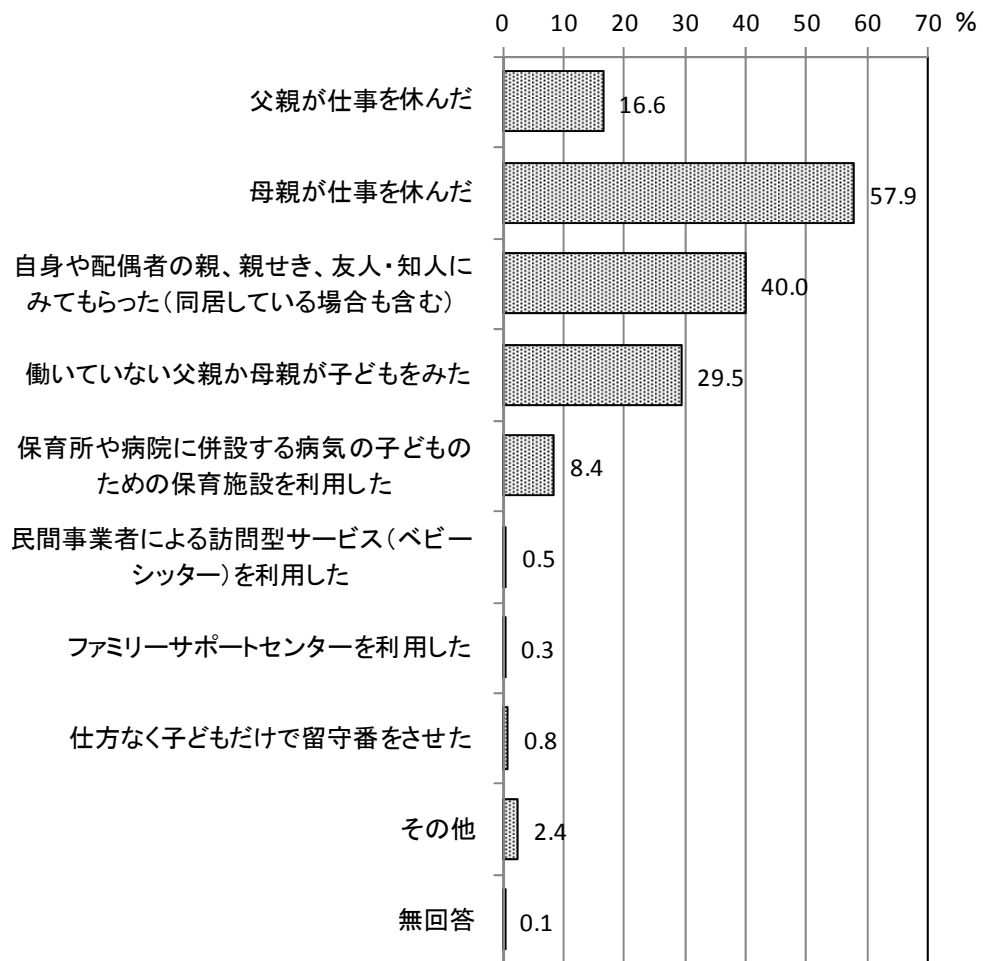
子どもが病気やけがで保育サービスが利用できなかったこと (N=961)



問 27-1 利用できなかった時の対処方法

この1年の間に子どもが病気やけがで幼稚園や保育所を利用できなかったことが「あった」と答えた方に子どもが病気で幼稚園や保育所を利用できなかった時の対処方法を聞いたところ、「母親が仕事を休んだ」が57.9%と最も多く、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)」が40.0%、「働いていない父親か母親が子どもをみた」が29.5%となっている。

利用できなかった時の対処方法 (N=748、複数回答)

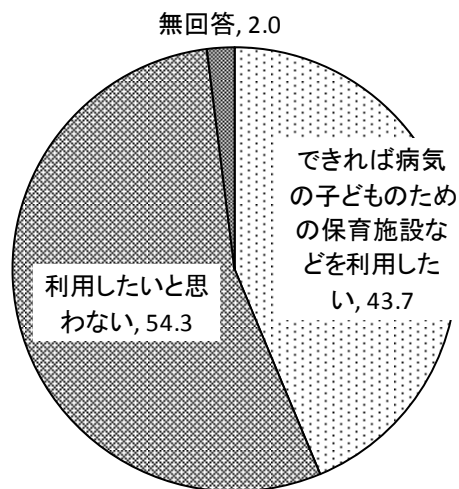


問 27-2 病児・病後児保育の利用希望、日数

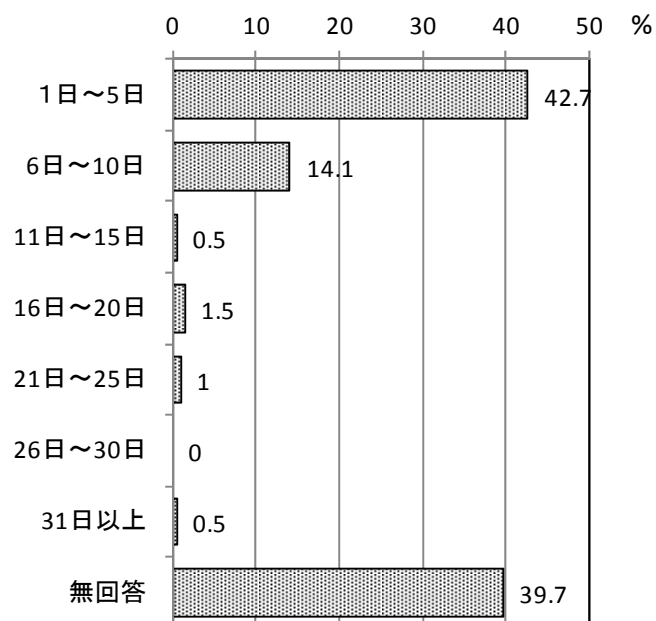
この1年の間に子どもが病気やけがで幼稚園や保育所を利用できなかったことが「あった」と答えた方のうち、利用できなかった時の対処方法で、父親もしくは母親が「仕事を休んだ」と答えた方の病気の子どもの保育施設の利用希望については、「利用したいと思わない」が54.3%、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が43.7%となっている。

利用したい日数は、「1日～5日」が42.7%と最も多く、「6日～10日」が14.1%となっている。

病児・病後児保育の利用の希望 (N=455)



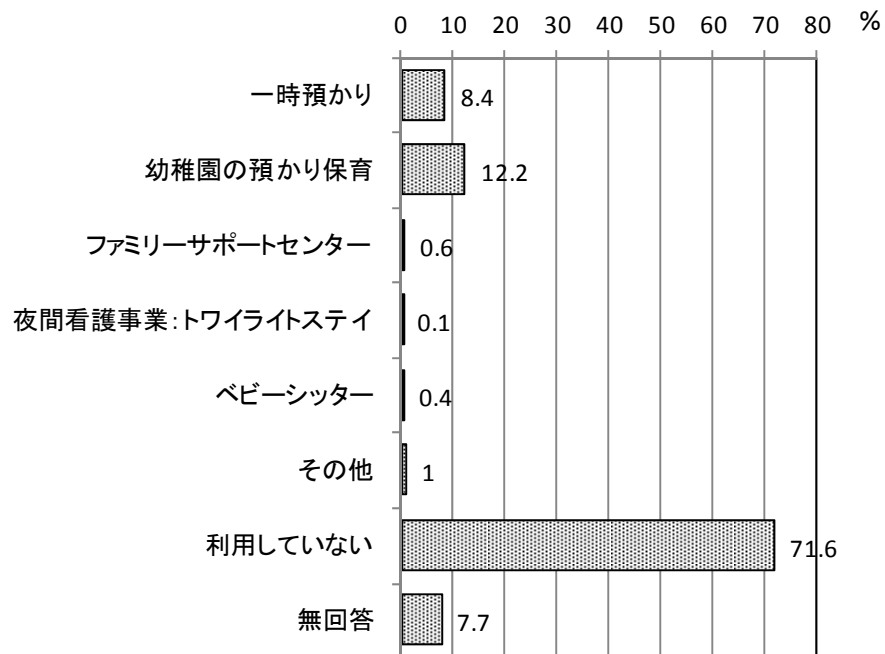
病児・病後児保育の利用したい日数 (N=199)



問 28 一時預かりの利用

子どもを預かるサービスの不定期的な利用については、「利用していない」が 71.6%と最も多く、「幼稚園の預かり保育」が 12.2%、「一時預かり」が 8.4%となっている。

一時預かりの利用 (N=1545、複数回答)



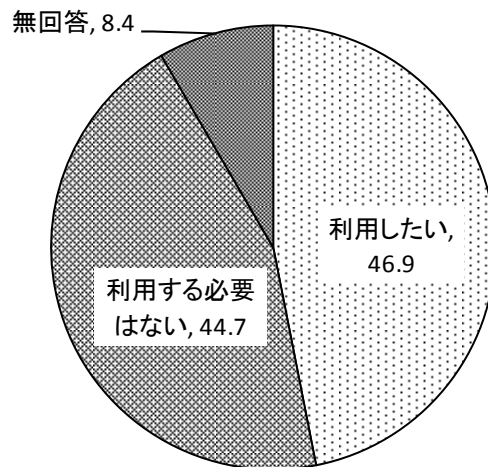
問 29 一時預かりの利用希望

保育所などで実施している一時預かりは、「利用したい」が46.9%、「利用する必要はない」が44.7%となっている。

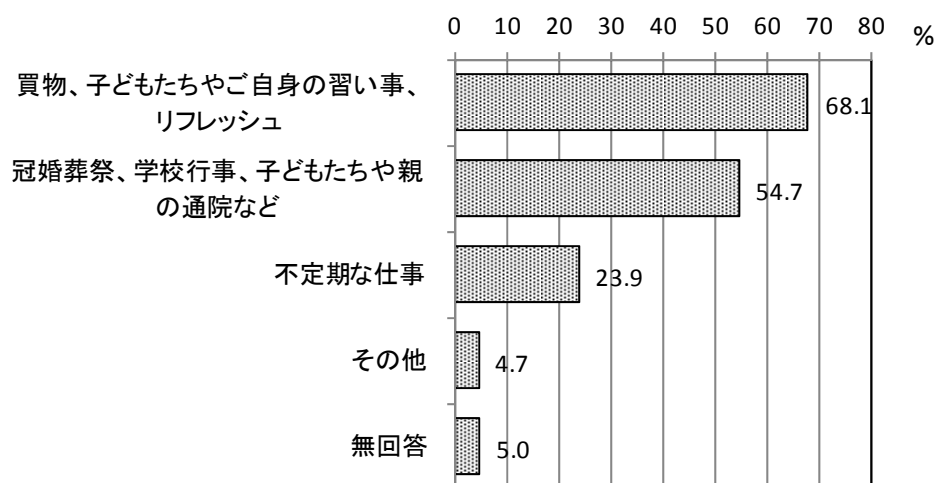
一時預かりの利用目的は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が68.1%と最も多く、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が54.7%、「不規則な仕事」が23.9%となっている。

「利用したい」と回答した中で、利用日数は、「1日～5日」が20.0%と最も多く、「6日～10日」が16.7%、「11日～15日」が12.8%、「31日以上」が12.0%となっている。

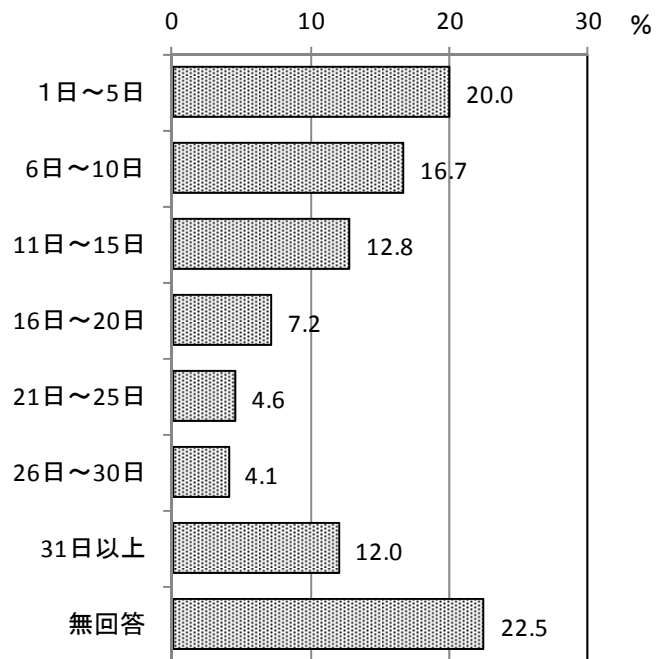
一時預かりの利用希望 (N=1545)



一時預かりの利用目的 (N=724、複数回答)



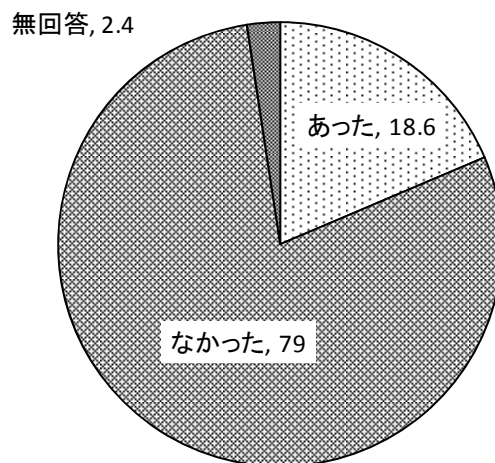
一時預かりの利用日数 (N=724)



問 30 宿泊を伴う一時預かりの利用について

この1年間に、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわないといけないことがあったかは、「あった」が18.6%、「なかった」が79.0%となっている。

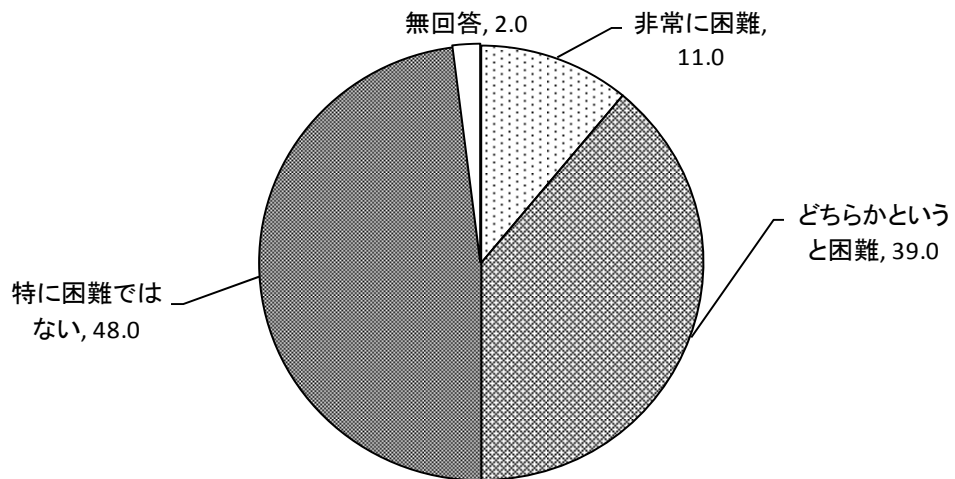
宿泊を伴う一時預かり (N=1545)



問 30-1 祖父母等にみてもらった場合の困難度

この1年間に、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわないといけないことがあった方のうち、回答者自身や配偶者の親などにみてもらった時の困難度は、「特に困難ではない」が 48.0%と最も多く、「どちらかという困難」が 39.0%、「非常に困難」が 11.0%となっている。

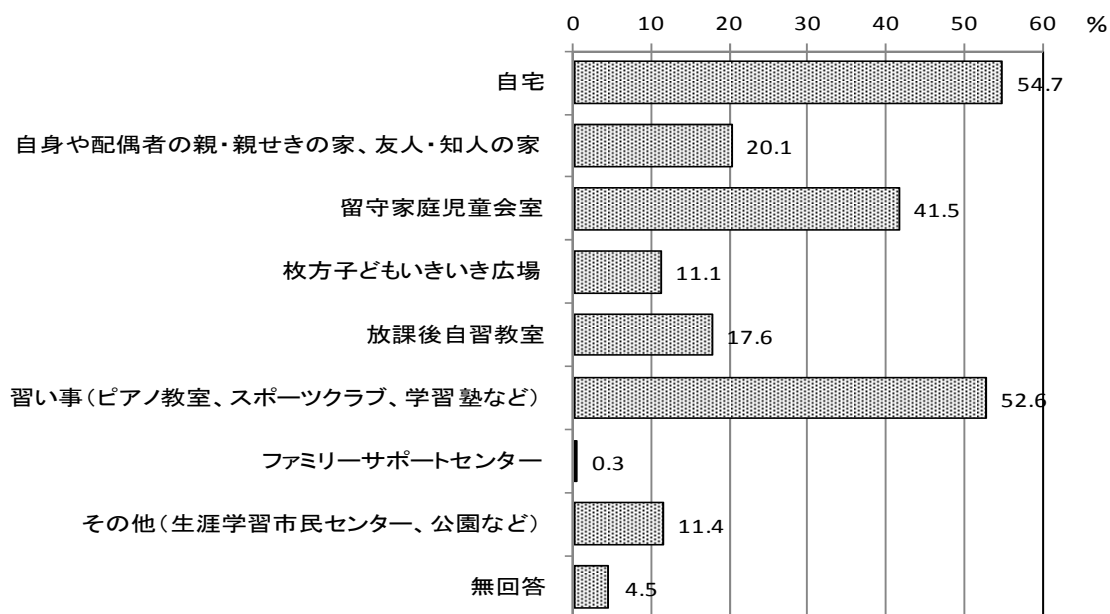
祖父母等にみてもらった場合の困難度 (N=254)



問 31 小学校低学年での放課後の過ごし方

将来、お子さんが小学校低学年(1～3年生)になったときに、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかと聞いたところ、「自宅」が 54.7%と最も多く、「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」が 52.6%、「留守家庭児童会室」が 41.5%、「自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」が 20.1%などとなっている。

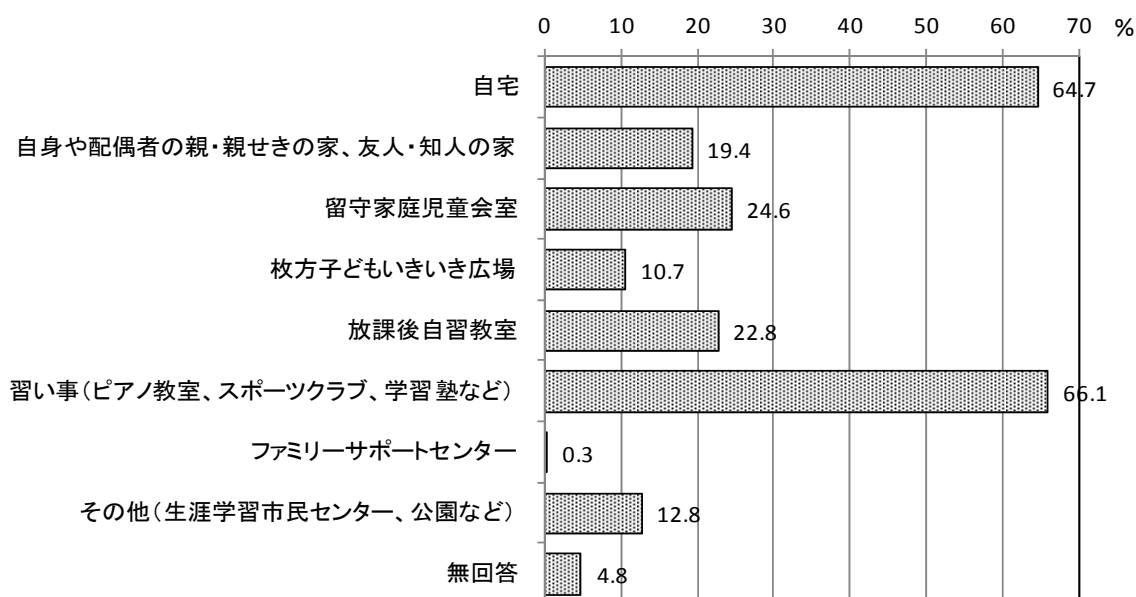
小学校低学年での放課後の過ごし方 (N=289、複数回答)



問 32 小学校高学年での放課後の過ごし方

将来、お子さんが小学校高学年(4～6年生)になったときに、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいは、「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」が 66.1%と最も多く、「自宅」が 64.7%、「留守家庭児童会室」が 24.6%、「放課後自習教室」が 22.8%となっている。

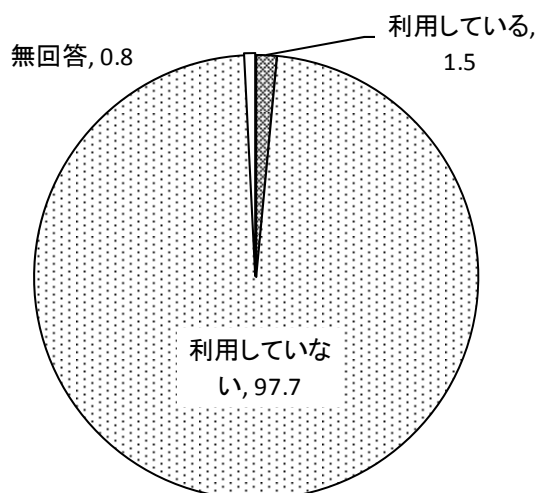
小学校高学年での放課後の過ごし方 (N=289、複数回答)



問 35 ファミリーサポートセンターの利用

ファミリーサポートセンターを「利用していない」が97.7%を占め、「利用している」が1.5%となっている。

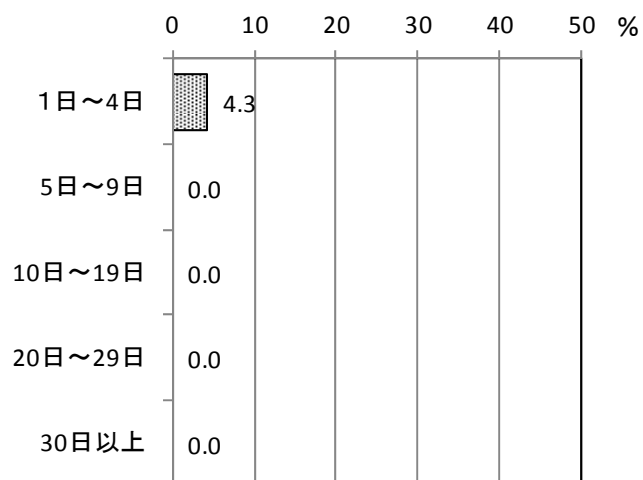
ファミリーサポートセンターの利用 (N=1545)



問 35-3 ファミリーサポートセンターの利用日数・回数の希望

ファミリーサポートセンターを利用している方の月当たり希望利用回数は、「1日～4日」が4.3%となっている。

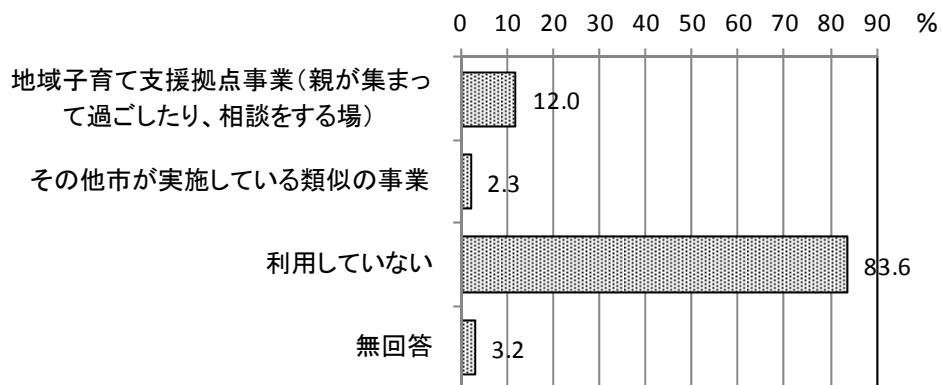
ファミリーサポートセンターの月当たり希望利用日数・回数の希望 (N=23)



問 36 地域子育て支援拠点事業の利用

地域子育て支援拠点事業の利用については、「利用していない」が 83.6%となっており、「地域子育て支援拠点事業(親が集まって過ごしたり、相談をする場)」が 12.0%、「その他市が実施している類似の事業」が 2.3%となっている。

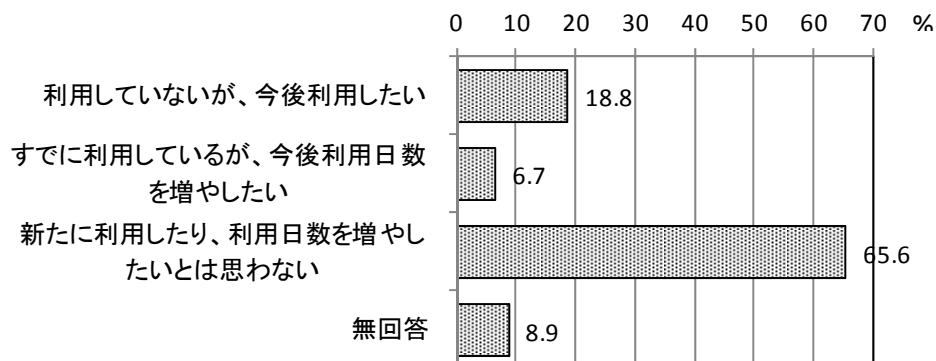
地域子育て支援拠点事業の利用状況 (N=1545、複数回答)



問 37 地域子育て支援拠点事業の利用希望

地域子育て支援拠点事業を今は利用していないができれば利用したいか、あるいは、利用日数を増やしたいかと聞いたところ、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 65.6%と最も多く、「利用していないが、今後利用したい」が 18.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 6.7%となっている。

地域子育て支援拠点事業の利用希望 (N=1545)



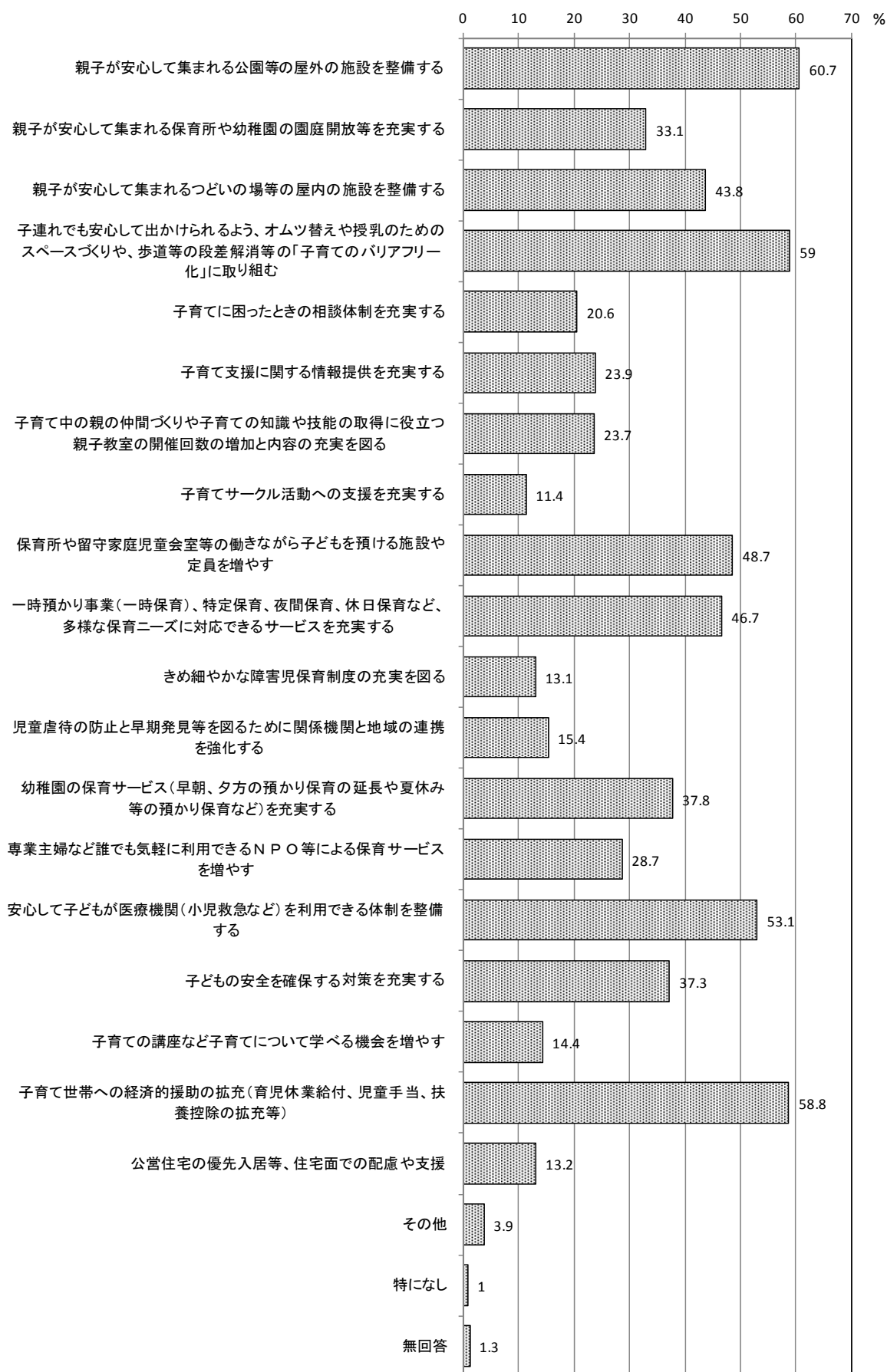
問 40 子育て支援サービスの認知度・利用度・利用希望 (N=1545)

子育て支援サービスについて		A 知っている				B これまでに利用 したことがある				C 今後利用したい			
		ある	ない	無回答	計	ある	ない	無回答	計	ある	ない	無回答	計
1) マタニティスクール(両親教室)	件数	1363	151	31	1545	653	831	61	1545	425	973	147	1545
	%	88.2	9.8	2	100	42.3	53.8	3.9	100	27.5	63	9.5	100
2) 新生児家庭訪問	件数	1411	92	42	1545	1008	484	53	1545	618	770	157	1545
	%	91.3	6	2.7	100	65.2	31.3	3.4	100	40	49.8	10.2	100
3) 妊産婦家庭訪問	件数	550	968	27	1545	116	1335	94	1545	342	1059	144	1545
	%	35.6	62.7	1.7	100	7.5	86.4	6.1	100	22.1	68.5	9.3	100
4) 乳幼児健康相談	件数	1309	191	45	1545	843	642	60	1545	793	608	144	1545
	%	84.7	12.4	2.9	100	54.6	41.6	3.9	100	51.3	39.4	9.3	100
5) 離乳食・幼児食講習会	件数	1341	157	47	1545	536	944	65	1545	521	875	149	1545
	%	86.8	10.2	3	100	34.7	61.1	4.2	100	33.7	56.6	9.6	100
6) 子育てコール(保健師による子育て全般の相談についての電話相談)	件数	1177	338	30	1545	345	1135	65	1545	675	746	124	1545
	%	76.2	21.9	1.9	100	22.3	73.5	4.2	100	43.7	48.3	8	100
7) 保健センターの情報・相談サービス	件数	916	596	33	1545	322	1149	74	1545	668	746	131	1545
	%	59.3	38.6	2.1	100	20.8	74.4	4.8	100	43.2	48.3	8.5	100
8) 市の子育てメールマガジン	件数	412	1104	29	1545	145	1317	83	1545	498	913	134	1545
	%	26.7	71.5	1.9	100	9.4	85.2	5.4	100	32.2	59.1	8.7	100
9) 地域子育て支援拠点	件数	768	737	40	1545	480	986	79	1545	654	740	151	1545
	%	49.7	47.7	2.6	100	31.1	63.8	5.1	100	42.3	47.9	9.8	100
10) 保育所や幼稚園の園庭等の開放	件数	1421	79	45	1545	961	537	47	1545	981	439	125	1545
	%	92	5.1	2.9	100	62.2	34.8	3	100	63.5	28.4	8.1	100
11) 保育所(園)ふれあい体験(*)	件数	1277	215	53	1545	885	602	58	1545	868	536	141	1545
	%	82.7	13.9	3.4	100	57.3	39	3.8	100	56.2	34.7	9.1	100
12) ふれあいルーム(図書館などで本とふれあいながら親子の交流ができる場)	件数	1201	308	36	1545	656	824	65	1545	952	470	123	1545
	%	77.7	19.9	2.3	100	42.5	53.3	4.2	100	61.6	30.4	8	100
13) 一時預かり事業(病気やリフレッシュのために一時的に保育所を利用)	件数	1221	296	28	1545	241	1243	61	1545	764	674	107	1545
	%	79	19.2	1.8	100	15.6	80.5	3.9	100	49.4	43.6	6.9	100
14) 特定保育(週2・3日程度の就労などの場合に保育所を利用)	件数	851	670	24	1545	84	1385	76	1545	491	936	118	1545
	%	55.1	43.4	1.6	100	5.4	89.6	4.9	100	31.8	60.6	7.6	100

問 48 子育て支援策の充実

行政に対して充実を図ってほしい支援策は、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」が 60.7%と最も多く、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む」が 59.0%、「子育て世帯への経済的援助の拡充(育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等)」が 58.8%、「安心して子どもが医療機関(小児救急など)を利用できる体制を整備する」が 53.1%とともに、50%を超えている。また、「保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす」が 48.7%、「一時預かり事業(一時保育)、特定保育、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する」が 46.7%、「親子が安心して集まれるつどいの場等の屋内の施設を整備する」が 43.8%となっている。

子育て支援策の充実について (N=1545、複数回答)

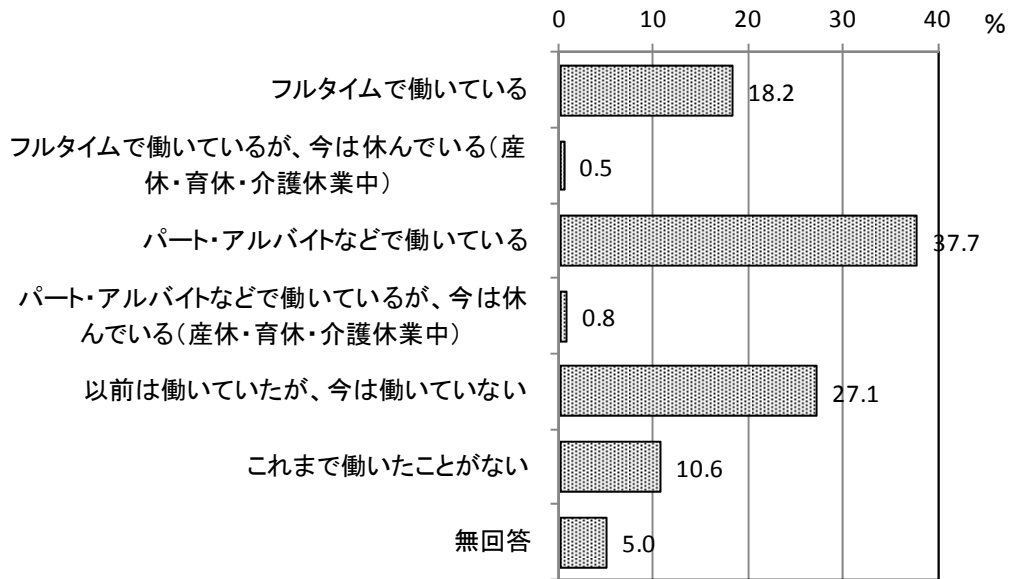


2. 小学生児童

問9 母親の現在の就労

母親の現在の就労については、「パート・アルバイトなどで働いている」が 37.7%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 18.2%で休業中と合わせて約 56%が働いている。「以前は働いていたが、今は働いていない」が 27.1%、「これまで働いたことがない」が 10.6%となっている。

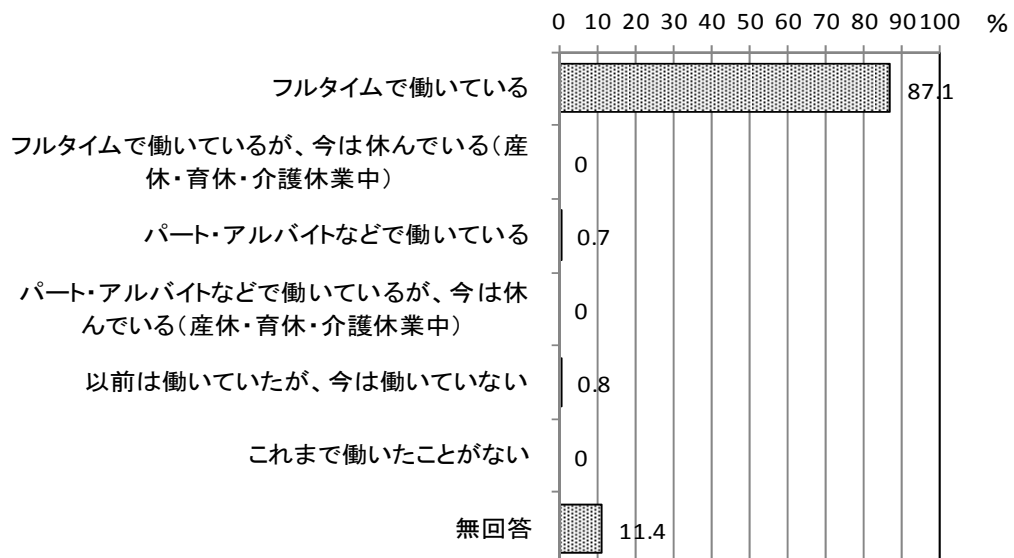
母親の現在の就労 (N=1109)



問10 父親の現在の就労

父親の現在の就労については、「フルタイムで働いている」が 87.1%と最も多く、90%近くを占めている。「以前は働いていたが、今は働いていない」が 0.8%、「パート・アルバイトなどで働いている」が 0.7%となっている。

父親の現在の就労 (N=1109)

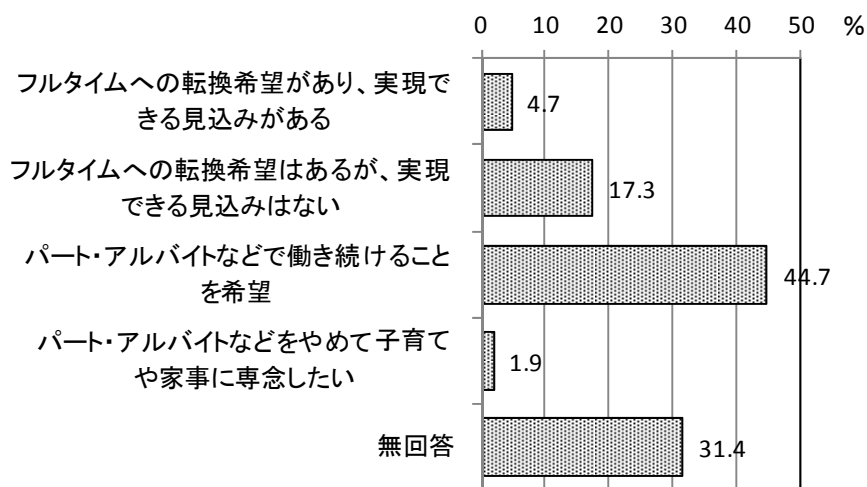


問 11 フルタイムへの転換希望

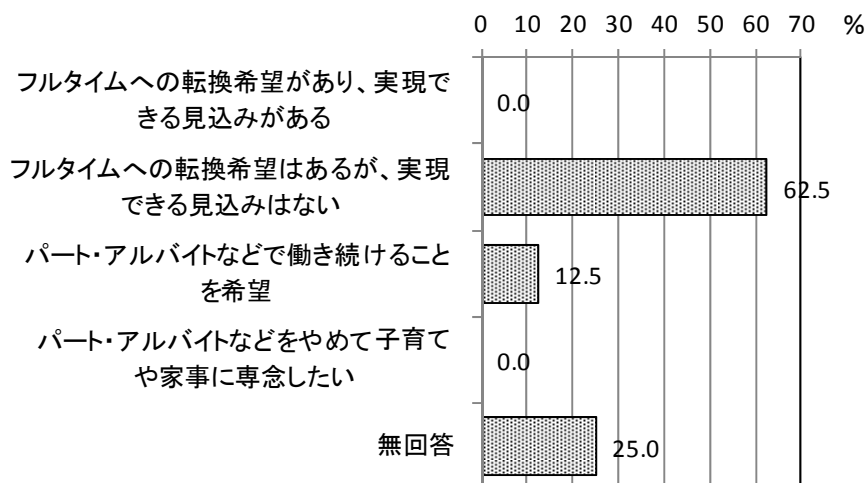
問9において、パート・アルバイトなどで働いていると回答した母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が 44.7%と最も多くなっている。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 17.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 4.7%となっている。

問 10 において、パート・アルバイトなどで働いていると回答した父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 62.5%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が 12.5%となっている。

母親のフルタイムへの転換希望 (N=427)



父親のフルタイムへの転換希望 (N=8)

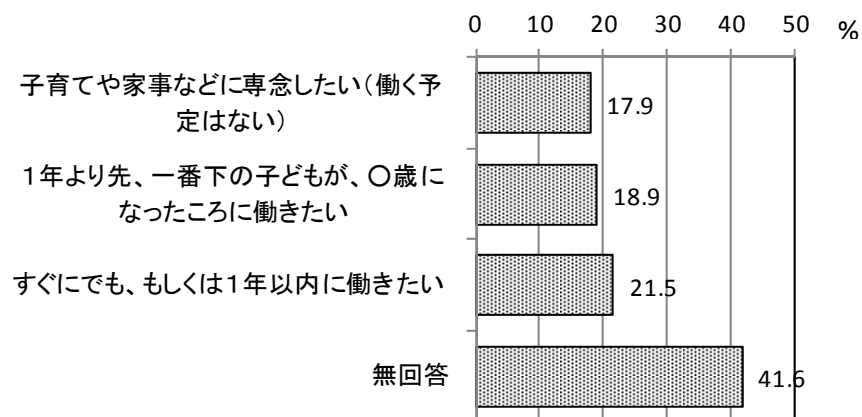


問 12 就労希望

問9において、現在働いていないと回答した母親の就労希望は、「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」が 21.5%と最も多く、「1年より先、一番下の子どもが、〇歳になったころに働きたい」が 18.9%と併せて約 40%が就労を希望している。「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が 17.9%となっている。

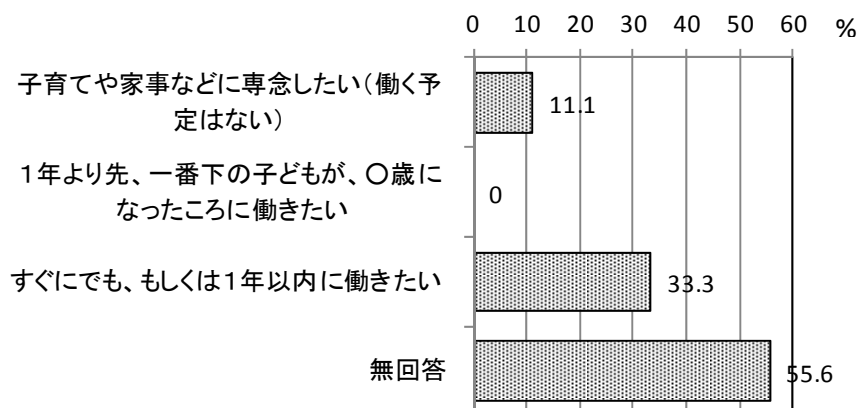
問 10 において、現在働いていないと回答した父親の就労希望は、「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」が 33.3%と最も多く、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が 11.1%となっている。

母親の就労希望 (N=418)



※〇には具体的な年齢の数字を回答してもらっています

父親の就労希望 (N=9)

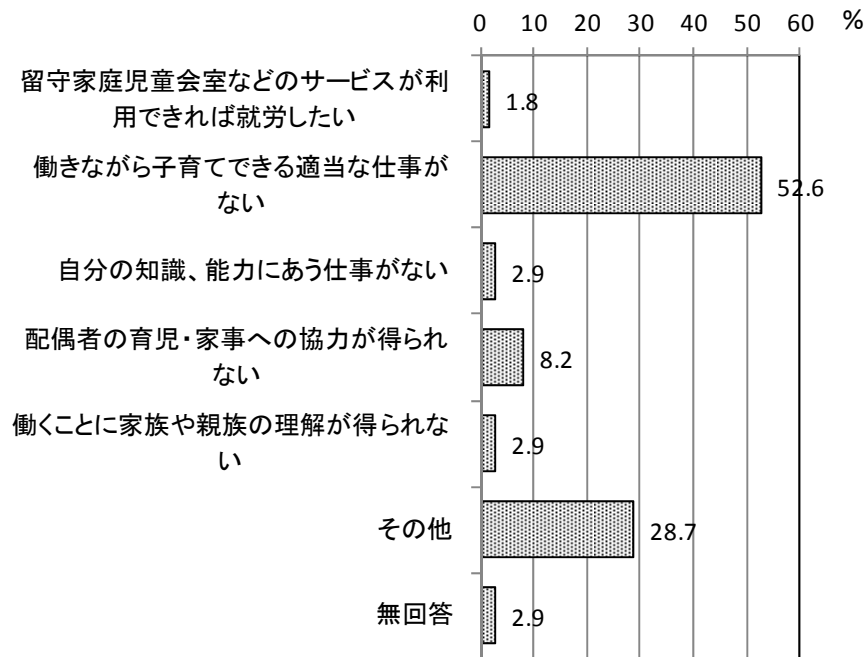


※〇には具体的な年齢の数字を回答してもらっています

問 12 - 1 就労希望がありながら働いていない理由

父親・母親で就労希望がありながら現在働いていない理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が52.6%と最も多く、「その他」が28.7%、「配偶者の育児・家事への協力が得られない」が8.2%となっている。

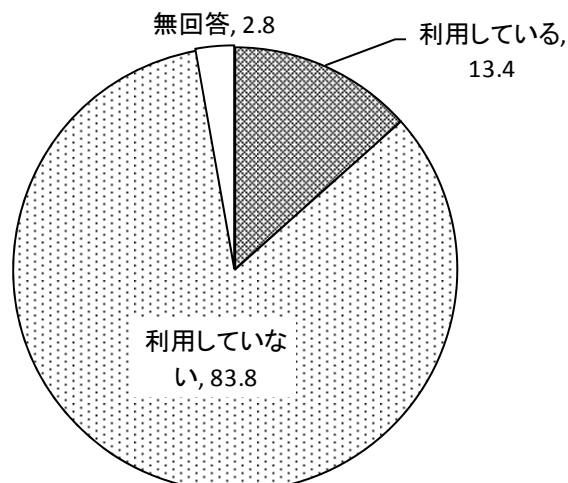
就労希望がありながら働いていない理由 (N=171)



問 20 留守家庭児童会室の利用

平日に、現在、留守家庭児童会室を「利用している」が13.4%、「利用していない」が83.8%となっている。

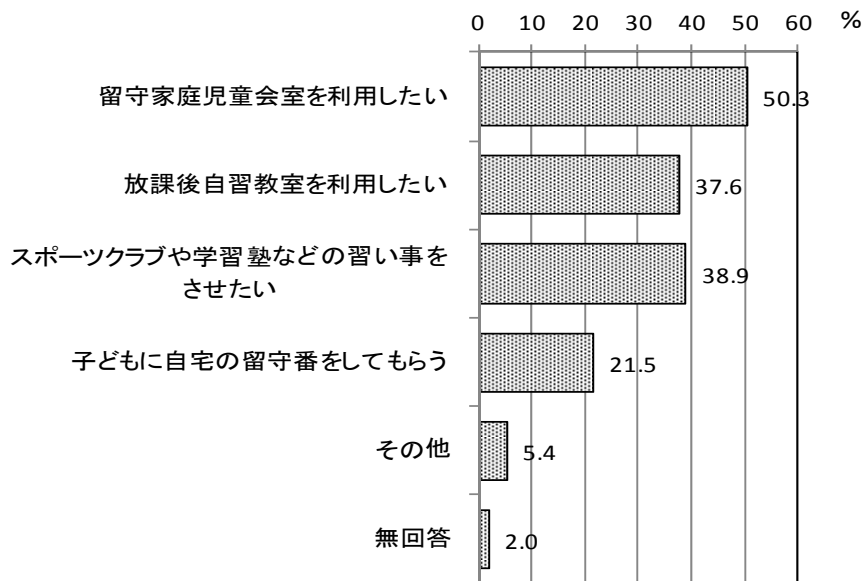
留守家庭児童会室の利用状況 (N=1109)



問 21 - 5 小学 5 年生以降の放課後の過ごし方

留守家庭児童会室を利用している方の希望する小学5年生以降の放課後の過ごし方は、「留守家庭児童会室を利用したい」が 50.3%と最も多く、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」が 38.9%、「放課後自習教室を利用したい」が 37.6%、「子どもに自宅の留守番をしてもらおう」が 21.5%となっている。

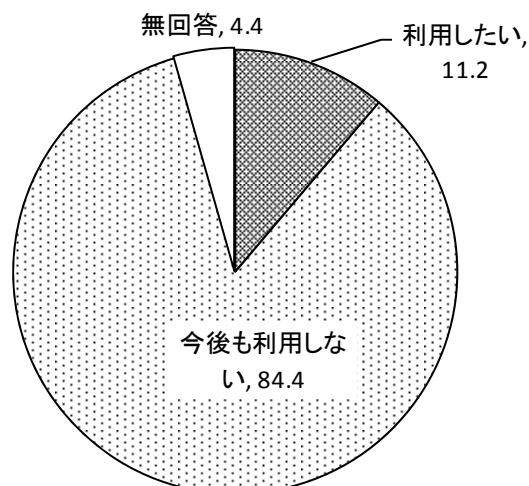
小学 5 年生以降の放課後の過ごし方 (N=149、複数回答)



問 22 - 1 留守家庭児童会室を利用していない方の今後の利用希望

平日に、現在、留守家庭児童会室を利用していない方については、「今後も利用しない」が 84.4%、「利用したい」が 11.2%となっている。

留守家庭児童会室の今後の利用希望 (N=929)

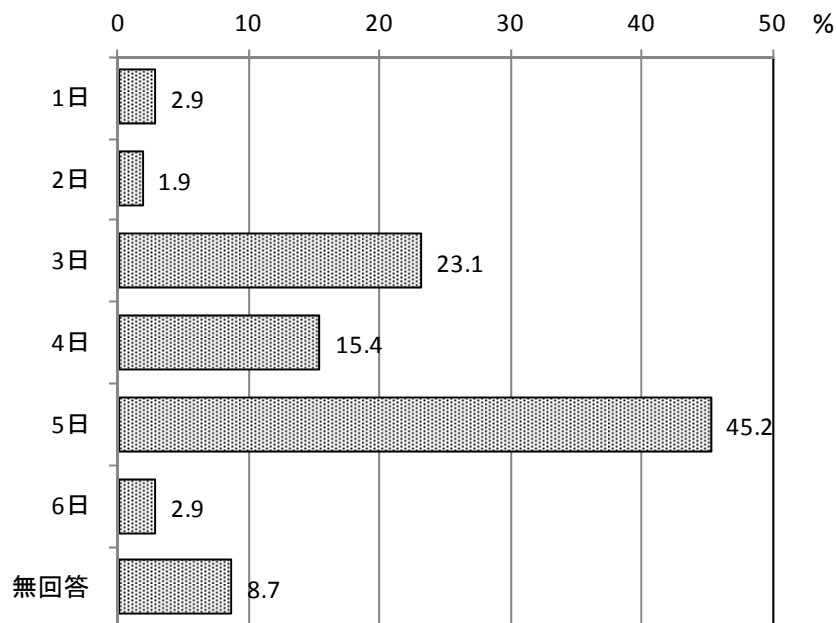


問 22 - 1 留守家庭児童会室を利用していない方の利用希望日数・時間

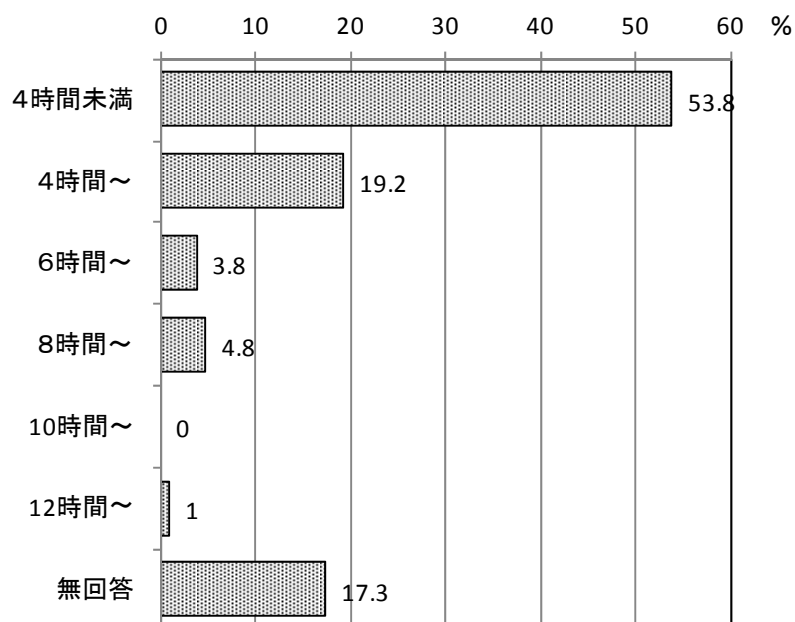
現在、留守家庭児童会室を利用していない方が、今後利用を希望する場合の1週当たり利用日数は、「5日」が45.2%で最も多く、次いで「3日」が23.1%、「4日」が15.4%などとなっている。

また、希望する1日当たりの利用時間は、「4時間未満」が53.8%で最も多く、次いで「4時間～」が19.2%となっている。

留守家庭児童会室の1週当たり利用希望日数 (N=104)



留守家庭児童会室の1日当たり利用希望時間 (N=104)



問 46 子育て支援策の充実

行政に要望する子育て支援策については、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が最も多く 61.9%、次いで「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が 57.9%、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が 55.8%、「子どもの安全を確保する対策を充実する」が 51.12% などとなっている。

子育て支援策の充実 (N=1109、複数回答)

